







余白



## 2. 委託報告書(平成20年) ボーリング柱状図

余白

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	①-1		調査位置				北緯	
発注機関				調査期間				東経
調査業者名				主任技師	現代場人	コ鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	+ 66.64 m	角	180° 上 90°	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0°	ハンマー 落下用具
総掘削長	90.00 m	度	0°	向		鉛直 90°	20°	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級	孔内水位 測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm)	コアチューブ ノズル	給圧 (kN・rpm)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)				
																( N 値 ~ 深度 )																			
	66.60	0.04		にぶい黄橙							0.00~0.04m: 表土。黒褐色を呈する腐植土からなる。																								
	65.33	1.31		橙							0.04~1.31m: マサ土。にぶい黄橙色を呈するシルト混じり砂からなる。																								
				橙							1.31~10.93m: アブライト。径1~5mm程度の石英、長石の斑晶を5%程度含む。全体に風化が著しく、軟質である。また、8m付近まで赤色化している。																								
				灰白							2.66~2.95m: 破砕帯(Hc)。上盤不明、下盤70°。幅10cm程度。灰白色粘土からなる。D級岩盤中で面は不明瞭である。																								
				灰白							3.60~7.92m: マンガンが網目状に分布している。																								
				明黄橙							8.64~10.63m: 破砕帯(Hc)。上盤27°下盤54°。全体幅117cm程度。灰白色~灰黄色粘土からなる。間には非破砕部を含む。																								
				灰白							10.93~55.15m: 花崗斑岩。径2~10mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を10~25%程度含む。上位のアブライトとの境界は漸移的である。																								
				明黄橙							13.72~13.80m: 変質帯。上盤69°、下盤54°。幅3cm程度。褐色粘土からなる。																								
				明黄橙							13.90~14.17m: 変質帯。上盤49°、下盤71°。幅12cm程度。軟質化している。灰褐色を呈する。																								
				明黄橙							14.17~25.24m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発生する。																								
				明黄橙							14.17~18.78m: 傾斜25°及び60°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴う。																								
				明黄橙							17.45~17.51m: 変質帯。上盤67°、下盤80°。幅1cm程度。節理に沿って不規則に軟質化している。																								
				明黄橙							18.78~21.51m: 傾斜20°及び90°程度の節理がみられる。節理には灰白色粘土を伴う。																								
				明黄橙							21.51~21.73m: 変質帯。上盤81°、下盤25°。幅3cm程度。軟質化している。上盤と下盤の傾斜角が大きく異なる。																								
				明黄橙							21.51~46.69m: 傾斜30°、50°及び70°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。																								
				明黄橙							23.62~23.80m: 変質帯。上盤83°、下盤85°。幅2cm程度。軟質化している。灰黄色を呈する。																								
				明黄橙							25.24~31.70m: コアはやや硬質で、ハンマーでにぶい金属音を発生する。																								























標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																					
																( N 値 ~ 深度 )																																																				
30			+	花崗斑岩	橙	III g	cg					25.88~26.86m:傾斜20°程度の節理が目立つ。	CM'	26.78	26.44	26.44	4/1	26.80	134																																																	
																																		にふい橙	II g	bg	26.86~41.22m:傾斜20°、50°、及び70°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。	CH'	26.94	26.94	26.94	4/2	33.00	113																								
																																		淡橙	IV g		29.08m:シーム。傾斜80°。幅0.2cm程度の黒褐色粘土からなる。他の節理を切っている。	CM'	28.94	28.94	28.94																											
																																			Dg	IV g	29.72~31.87m:コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。	CL'	29.94	29.94	29.94																											
																																		明褐灰	Bg	III g	31.87~35.41m:コアはやや硬質で、ハンマーでにふい金属音を発する。	III g	31.66	31.66	31.66																											
																																			Dg	IV g		IV g	33.99	33.99	33.99																											
																																		灰白	Bg	III g	35.41~41.33m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。	III g	34.02	34.02	34.02																											
																																			Dg	IV g		IV g	38.50	38.50	38.50																											
																																		明褐灰	Bg	III g	39.17m:傾斜70°の節理に沿って、淡緑灰色粘土が分布する。幅0.5mm程度	III g	41.33	41.33	41.33																											
																																			Dg	IV g		IV g	43.50	43.50	43.50																											
明黄褐	Dg	IV g	41.22~60.00m:傾斜75°程度の節理が発達する。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	IV g	43.50	43.50	43.50																																																													
	Dg	IV g		IV g	44.14	44.14	44.14																																																													
明褐灰	Bg	III g	41.32~43.34m:節理に沿ってマンガンを伴う。	III g	43.50	43.50	43.50																																																													
	Dg	IV g		IV g	44.14	44.14	44.14																																																													
明赤灰	Bg	III g	41.41~43.24m:破砕帯(Hc,Hj)。上盤72°、下盤68°。幅57cm程度。主に節理密集部からなるが、上盤、下盤に暗褐色粘土を伴い、正断層のセンスが認められる。	III g	43.50	43.50	43.50																																																													
	Dg	IV g		IV g	44.14	44.14	44.14																																																													
にふい橙	Bg	III g	43.24~61.05m:コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にふい金属音を発する。	III g	46.85	46.85	46.85																																																													
	Dg	IV g		IV g	48.16	48.16	48.16																																																													
明赤灰	Bg	III g	46.85~46.93m:変質帯。上盤70°、下盤62°。幅3cm程度。白濁化が著しいが、原岩組織は認められる。他の節理で切られる。	III g	48.16	48.16	48.16																																																													
	Dg	IV g		IV g	48.16	48.16	48.16																																																													
にふい橙	Bg	III g	48.16~48.45m:傾斜15°程度の流理がみられる。	III g	51.31	51.31	51.31																																																													
	Dg	IV g		IV g	52.18	52.18	52.18																																																													
灰赤	Bg	III g	54.13~55.35m:有色鉱物を中心に斑点状に褐色化している。	III g	54.13	54.13	54.13																																																													
	Dg	IV g		IV g	56.92	56.92	56.92																																																													
にふい黄橙	Bg	III g	57.74~58.09m:変質帯。上盤87°、下盤70°。幅2cm程度。不規則な分布形状で軟質化している。灰黄褐色を呈する。	III g	57.74	57.74	57.74																																																													
	Dg	IV g		IV g	58.44	58.44	58.44																																																													
明褐灰	Bg	III g	58.44~58.60m:変質帯。上盤64°、下盤84°。幅2cm程度。軟質化している。灰黄褐色を呈する。	III g	60.03	60.03	60.03																																																													
	Dg	IV g		IV g	61.05	61.05	61.05																																																													
明褐灰	Bg	III g	60.03~61.05m:変質帯。上盤53°、下盤67°。幅40cm程度。軟質化している。	III g	61.05	61.05	61.05																																																													
	Dg	IV g		IV g	61.05	61.05	61.05																																																													
明褐灰	Bg	III g	61.05~66.08m:傾斜25°及び75°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	III g	66.08	66.08	66.08																																																													
	Dg	IV g		IV g	66.08	66.08	66.08																																																													
明褐灰	Bg	III g	61.05~75.92m:コアはやや硬質~硬質で、ハンマーでにふい金属音~金属音を発する。	III g	75.92	75.92	75.92																																																													
	Dg	IV g		IV g	75.92	75.92	75.92																																																													







標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位 (m) / 測定日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
																( N 値 ~ 深度 )															
30	1.44	40.00		花崗斑岩	明褐灰	IVg, IIIg, IVg, Bg, IVg, IIIg, IVg, CG, Dg, Vg	bg			2	25.64m: シーム。傾斜78°。幅0.4cm程度の暗褐色粘土からなる。 26.58~29.15m: 傾斜70°程度の節理が発達している。節理に沿って褐色化している。 28.91~29.20m: 斑島の径が5mm程度と小さくなり、流理がみられる。傾斜32°程度。 29.15~40.00m: 傾斜25°及び75°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。 29.97m: シーム。傾斜73°。幅0.2cm程度の褐色、灰白色粘土からなる。周辺は節理が発達している。 30.51~30.73m: 斑島の径が4mm程度と小さくなる。30.70mに幅1cm程度で鉱物の配列がみられる。傾斜は14°程度である。 30.85m: シーム。傾斜74°。幅0.3cm程度の灰白色粘土からなる。これより下盤側は節理が発達している。 31.28~31.44m: 破砕帯 (Hb)。上盤72°下盤74°。幅5cm程度。礫混じり灰黄色粘土からなる。 31.78m: シーム。傾斜72°。幅0.3cm程度の褐色粘土からなる。周辺は節理が発達している。 34.12~36.03m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にふい金属音を発する。 34.37~34.70m: 破砕帯 (Hb)。上盤64°下盤不明。幅15cm程度。礫混じり灰黄色粘土からなる。 35.18~35.42m: マンガンを伴う傾斜75°程度の節理が発達している。 36.03~40.00m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。 38.93~40.00m: 斑島の径が10mm以下と上位に比べて小さくなる。上位との境界は傾斜70°程度。	0 50 100	26.92	0 10 20 30 40 50	6/11 31.85	6/12 31.65	6/13 40.00	83	76	76	78	ダブルコアチップ / ダイヤビット	20.0	100	0.0	泥水3	0.0	泥水2	0.0	泥水3	













標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 → cm R Q D □ [ % ]	岩盤区分		孔内水位 (m) / 測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )					原位置試験 孔内水平載荷 ( )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kn・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																															
													岩級	盤分		0	10	20	30	40												50																																																																																																																																																																														
30	4.48	34.60	[Pattern]	花崗斑岩	浅黄橙	Dg	IVg	cg	γ	3	26.69~38.12m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	[Graph]	CL'	35.88	5/13	29, 38	105	5/13	29, 38	5.0	300	0.0	泥水 9	0																																																																																																																																																																																						
	4.32	34.83																							花崗斑岩	橙	Bg	IVg	bg	2	34.60~34.83m: 斑晶の含有量が2~3%程度のアブライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	[Graph]	CM'	34.38	5/14	33, 60	69	5/14	33, 60	20.0	0.0	400	30.0	0																																																																																																																																																																		
	2.65	37.15																																											花崗斑岩	橙	Bg	IVg	bg	2	37.15~37.40m: 斑晶の含有量が5%程度のアブライトを挟む。	[Graph]	CM'	38.12	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0																																																																																																																																															
	2.47	37.40																																																														花崗斑岩	橙	Bg	IVg	bg	3	38.12~38.79m: コアはやや軟質で、ハンマーで高音を発する。全体に風化し、黄褐色化している。	[Graph]	CL'	38.79	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0																																																																																																																												
	1.45	38.82																																																																																	花崗斑岩	橙	Bg	IVg	bg	γ	3	38.79~42.88m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	[Graph]	CM'	38.12	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0																																																																																																								
	-0.02	40.86																																																																																																					花崗斑岩	橙	Bg	IVg	bg	γ	3	38.82~43.17m: アブライト主体。径1~10mm程度の石英、長石の斑晶を3~5%程度含む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	[Graph]	CM'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0																																																																																				
	-0.53	41.56																																																																																																																									花崗斑岩	橙	Bg	IVg	bg	γ	3	39.28m: 幅5mm程度の石英脈を挟む。マンガンを伴う。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0																																																																
	-1.68	43.17																																																																																																																																													花崗斑岩	橙	Bg	IVg	bg	γ	3	40.86~41.56m: 斑晶の含有量が5~7%程度の花崗斑岩を挟む。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0																																												
	40	-0.02																																																																																																																																																																	40.86	花崗斑岩	橙	Bg	IVg	bg	γ	3	42.68~46.35m: コアはやや軟質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0																							
																																																																																																																																																																																								50	-0.53	41.56	花崗斑岩	橙	Bg	IVg	bg	γ	3	43.17~58.93m: 花崗斑岩。径1~15mm程度の石英、長石の斑晶を10~20%程度含む。アブライトとの境界は漸移的である。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0
60			-13.02	58.93	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	43.17~43.24m: 破砕帯 (Hb, Hc)。上盤68° 下盤67°。幅3cm程度。輝混じり灰黄色粘土。暗褐色粘土からなる。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0																																																																																																																																																																																						
																									60	-13.25	59.25	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	45.52~45.54m: 破砕帯 (Hj)。上盤18° 下盤10°。幅2cm程度。原岩組織が認められるが、灰白色粘土を伴う。周辺の節理を切っている。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0																																																																																																																																																																		
																																													60	-13.93	60.20	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	46.35~50.49m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22																																																																																																																																															
																																																																60	-13.02	58.93	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	48.65m: シーム。傾斜74°。幅0.6cm程度の輝混じり灰褐色粘土からなる。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22																																																																																																																												
																																																																																			60	-13.25	59.25	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	50.49~75.00m: コアの硬軟を細かく繰り返す。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0																																																																																																								
																																																																																																							60	-13.93	60.20	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	51.50~51.53m: 破砕帯 (Hc)。上盤20° 下盤20°。幅2.8cm程度。灰白色粘土からなる。周辺の節理を切っている。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0																																																																																				
																																																																																																																											60	-13.02	58.93	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	54.20~54.75m: 変質帯。上盤64° 下盤不明瞭。幅24cm程度。節理密集部からなる。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0																																																																
																																																																																																																																															60	-13.25	59.25	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	56.43~56.68m: 変質帯。上盤20° 下盤24°。幅23cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0																																												
	60	-13.02																																																																																																																																																																	58.93	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	58.93~59.25m: ベグマタイト脈を挟む。径10~30mm程度の石英、長石からなる。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0																							
																																																																																																																																																																																								60	-13.25	59.25	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	59.25~60.20m: アブライト。径3mm程度の石英、長石の斑晶を3%程度含む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0
60			-13.93	60.20	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	60.14~60.15m: 変質帯。上盤20° 下盤20°。幅0.9cm程度。灰白色シルトからなる。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0	400	30.0	0																																																																																																																																																																																						
																									60	-13.02	58.93	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	bg	γ	3	60.20~75.00m: 花崗斑岩。径1~12mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を10~20%程度含む。アブライトとの境界は漸移的である。	[Graph]	CL'	42.68	5/15	46, 22	98	5/15	46, 22	30.0																																																																																																																																																																		











標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験)試験		原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給送水量 (l/分)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																													
																(N 値 ~ 深度)	(N 値)																																																																																																																																																																																																																																																							
30	36.76	32.25	[岩種区分図]	花崗斑岩	橙	Bg	II g	bg				26.62m: 幅1~2mm程度の石英脈を挟む傾斜76°程度。	CM'	[CH]	26.00	4/14	133	50.0	4/14	27.00	91	70.0	30.0	120	50.0	0.0	0	0																																																																																																																																																																																																																																												
																													30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			32.01m: 幅5~10mm程度の石英脈を挟む。マンガンを含む。傾斜66°程度。32.22m: 幅10mm程度のマンガン脈を挟む。傾斜67°程度。	CM'	[CM]	29.00	4/15	32.00	40.0	81	80.0	30.0	120	50.0	0.0	0	0																																																																																																																																																																																																																			
																																																						30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			32.25~33.48m: アフライト。径1~10mm程度の石英、長石、径2mm以下の黒雲母の斑晶を1~3%程度含む。上位の花崗斑岩との境界は漸移的である。	CM'	[CM]	29.00	4/15	32.00	40.0	81	80.0	30.0	120	50.0	0.0	0	0																																																																																																																																																																																										
																																																																															30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			33.30m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	CM'	[CM]	29.00	4/15	32.00	40.0	81	80.0	30.0	120	50.0	0.0	0	0																																																																																																																																																																	
																																																																																																								30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			33.48~65.00m: 花崗斑岩主体。径1~12mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5~30%程度含む。斑晶が密集している箇所とそうでない箇所を繰り返す。上位のアフライトとの境界は明瞭で傾斜78°程度。	CM'	[CH]	29.00	4/16	37.00	50.0	128	160	50.0	0.0	0	0																																																																																																																																										
																																																																																																																															30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			33.90~44.37m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	CM'	[CH]	29.00	4/16	37.00	50.0	128	160	50.0	0.0	0	0																																																																																																																			
																																																																																																																																																						30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			34.96~35.08m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	CM'	[CH]	29.00	4/16	37.00	50.0	128	160	50.0	0.0	0	0																																																																																												
																																																																																																																																																																													30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			39.55~41.72m: 傾斜20°及び80°程度の節理がみられる。	CM'	[CH]	29.00	4/16	37.00	50.0	128	160	50.0	0.0	0	0																																																																					
																																																																																																																																																																																																				30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			41.72~65.00m: 傾斜60~70°程度の節理が発達している。節理に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。	CM'	[CH]	29.00	4/16	37.00	50.0	128	160	50.0	0.0	0	0																																														
																																																																																																																																																																																																																											30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			43.16m: 幅5~8mm程度の石英脈を挟む傾斜45°程度。	CM'	[CH]	29.00	4/17	44.70	70.0	76	70.0	50.0	0.0	0	0																							
																																																																																																																																																																																																																																																		30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			43.25~43.50m: 44.20~45.56m: 斑晶の含有量が5%程度のアフライトを挟む。	CM'	[CH]	29.00	4/17	44.70	70.0	76	70.0	50.0	0.0	0	0
30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			45.13~46.34m: 破砕帯(Hb, Hc, Hj)。上盤72°、下盤68°。幅53cm程度。上部は主に疎混じり黄褐色粘土からなり、下部は主に灰白色粘土が網目状に分布する。一部は原岩組織を残す。上盤にはマンガンが濃集する。	CL'	[CL]	29.00	4/17	44.70	70.0	76	70.0	50.0	0.0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																		
																							30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			46.85~46.97m: 破砕帯(Hc, Hj)。上盤72°、下盤67°。幅7.7cm程度。原岩組織が認められるが、上盤、下盤に幅0.3cm程度の明瞭な灰白色粘土を伴う。	CL'	[CL]	29.00	4/18	56.00	96	120	120	0.0	0	0																																																																																																																																																																																																																												
																																													30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			47.13~47.25m: 変質帯。上盤66°、下盤30°。幅5cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。上盤と下盤の傾斜方向が異なる。	CL'	[CL]	29.00	4/18	56.00	96	120	120	0.0	0	0																																																																																																																																																																																																						
																																																																			30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			48.26~48.95m: 破砕帯(Hb, Hc, Hj)。上盤69°、下盤45°。幅25cm程度。原岩組織が認められるが、幅0.4~1cm程度の明瞭な灰色~灰白色粘土を伴う。	CL'	[CL]	29.00	4/18	56.00	96	120	120	0.0	0	0																																																																																																																																																																																
																																																																																									30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			49.21~51.10m: 破砕帯(Hb, Hc, Hj)。上盤45°、下盤36°。幅80cm程度。原岩組織が認められ、灰白色粘土が網目状に分布する。間には幅6~10cm程度の明瞭な灰白色粘土を伴う。粘土の傾斜は65°である。	CL'	[CL]	29.00	4/21	56.00	116	120	120	0.0	0	0																																																																																																																																																										
																																																																																																															30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			51.73~52.12m: 変質帯。上盤67°、下盤72°。幅15cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	CL'	[CL]	29.00	4/21	56.00	116	120	120	0.0	0	0																																																																																																																																				
																																																																																																																																					30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			52.53~52.67m: 変質帯。上盤52°、下盤43°。幅8.6cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	CL'	[CL]	29.00	4/21	56.00	116	120	120	0.0	0	0																																																																																																														
																																																																																																																																																											30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			53.67~53.72m: 変質帯。上盤71°、下盤41°。幅1.6cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。上盤と下盤の傾斜角が大きく異なり膨脹する。	CL'	[CL]	29.00	4/21	56.00	116	120	120	0.0	0	0																																																																																								
																																																																																																																																																																																	30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			54.56~54.64m: 変質帯。上盤76°、下盤76°。幅2.2cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	CL'	[CL]	29.00	4/21	56.00	116	120	120	0.0	0	0																																																																		
																																																																																																																																																																																																							30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			55.85~55.90m: 変質帯。上盤31°、下盤31°。幅4.3cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	CL'	[CL]	29.00	4/21	56.00	116	120	120	0.0	0	0																																												
																																																																																																																																																																																																																													30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			56.57~56.67m: 変質帯。上盤74°、下盤77°。幅2.2cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。	CL'	[CL]	29.00	4/21	56.00	116	120	120	0.0	0	0																						
																																																																																																																																																																																																																																																			30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			57.42~65.00m: コアはやや硬質で、ハンマーでぶい金属音を発することが多い。	CL'	[CL]	29.00	4/22	62.00	116	120	120	0.0	0	0
30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			59.67m: シーム。傾斜75°。幅0.5cm程度の黄灰色粘土からなる。他の節理を切っている。	CL'	[CL]	29.00	4/22	62.00	116	120	120	0.0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																			
																						30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			59.67~61.35m: アフライト。径2mm程度の石英、長石の斑晶を2~5%程度含む。	CL'	[CL]	29.00	4/22	62.00	116	120	120	0.0	0	0																																																																																																																																																																																																																													
																																												30	35.53	33.48	アフライト	橙	Bg	II g	bg			61.74~61.90m: 斑晶の含有量が3%程度のアフライトを挟む。	CL'	[CL]	29.00	4/22	62.00	116	120	120	0.0	0	0																																																																																																																																																																																																							



























標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分		孔内水位 (m) / 測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	室内試験	給送水量 (l/分)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)	送水圧 (MPa)	回送水量 (MPa)	給送水量 (MPa)						
													岩級	盤区分		N 値	10	20	30	40											50					
30	78.95	33.55	[ 花崗斑岩 ]	アプライト	明褐灰	Bg	IV g	bg			25.81~40.11m: 傾斜75°程度の節理が発達している。節理に沿ってマンガンや流入粘土を伴うことが多い。26.00~115.00m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	0 50 100	29.00	CM'	27.88	0 10 20 30 40 50	4 / 1	31.75	103	83	10.0	300	0.0	0	泥水4	0	0	0	0	0	0	0				
																																	29.22~29.78m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	29.88	30.55	31.85
																																	33.55~34.00m: 斑晶の含有量が3~5%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	34.73	34.73	35.82
																																	35.68~35.90m: コアの表面にマンガンが斑点状に沈着する。	36.28	36.28	37.15
																																	36.26~74.97m: 節理が少なく、コアは長柱状を呈する。	37.15	37.15	38.02
																																	38.05m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	39.10	39.10	40.40
																																	38.00~39.48m: 斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	40.40	40.40	41.70
																																	39.10m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	41.70	41.70	43.00
																																	40.11~41.76m: 傾斜85°程度の節理が発達している。	43.00	43.00	44.30
																																	41.76~54.22m: 傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	44.30	44.30	45.60
40	73.50	39.00	アプライト	褐灰	Bg	IV g	cg			2	33.55~34.00m: 斑晶の含有量が3~5%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	0 50 100	29.00	CM'	34.73	0 10 20 30 40 50	4 / 2	35.82	116	83	10.0	300	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0					
																																35.68~35.90m: コアの表面にマンガンが斑点状に沈着する。	36.28	36.28	37.15	
																																36.26~74.97m: 節理が少なく、コアは長柱状を呈する。	37.15	37.15	38.02	
																																38.05m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	39.10	39.10	40.40	
																																38.00~39.48m: 斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	40.40	40.40	41.70	
																																39.10m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	41.70	41.70	43.00	
																																40.11~41.76m: 傾斜85°程度の節理が発達している。	43.00	43.00	44.30	
																																41.76~54.22m: 傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	44.30	44.30	45.60	
																																47.25m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	46.32	46.32	47.62	
																																47.57~47.59m: 幅1~4mm程度で径2mm程度の力り長石が脈状に2条密集している。傾斜10°程度。	47.62	47.62	48.92	
50	57.32	55.18	アプライト	明黄橙	Bg	IV g	cg				50.08~50.20m: 不明瞭な流理がみられる。傾斜10~20°程度。	0 50 100	29.00	CM'	48.92	0 10 20 30 40 50	4 / 3	40.40	131	83	10.0	300	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0					
																																50.32~54.20m: 斑晶の含有量が35~40%程度で周辺に比べて多い。	49.22	49.22	50.52	
																																52.80~57.12m: コアの表面が褐色化している。	50.52	50.52	51.82	
																																54.22~61.00m: 傾斜20°及び70°程度節理がみられる。	51.82	51.82	53.12	
																																55.18~58.89m: アプライト主体。径1~5mm程度の石英、長石の斑晶を3~5%程度含む。所々、斑晶の含有量が10~20%程度の花崗斑岩を挟む。	53.12	53.12	54.42	
																																55.70m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	54.42	54.42	55.72	
																																56.08~58.90m: 所々、流理がみられる。傾斜10~20°程度の低角度と傾斜70°程度の高角度とがある。	55.72	55.72	57.02	
																																58.89~115.00m: 花崗斑岩主体。径1~15mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~30%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。	57.02	57.02	58.32	
																																59.95~60.10m: ベグマタイト、径5~60mm程度の石英、長石からなる	58.32	58.32	59.62	
																																61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	59.62	59.62	60.92	
60	52.55	59.95	アプライト	灰黄褐	Bg	IV g	cg				61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	0 50 100	29.00	CM'	60.92	0 10 20 30 40 50	4 / 4	45.79	106	83	10.0	300	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
																																	61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	60.92	60.92	62.22
																																	61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	62.22	62.22	63.52
																																	61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	63.52	63.52	64.82
																																	61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	64.82	64.82	66.12
																																	61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	66.12	66.12	67.42
																																	61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	67.42	67.42	68.72
																																	61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	68.72	68.72	70.02
																																	61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	70.02	70.02	71.32
																																	61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	71.32	71.32	72.62
61.00~74.38m: 傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	72.62	72.62	73.92																																	





ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

Header information table for the borehole log, including borehole name (④-4), location, dates, personnel, and orientation details.

Main borehole log table with columns for depth, lithology, soil strength, groundwater level, and test results. Includes detailed stratigraphic descriptions and data points.

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ( % )	最大コア長 ( cm )	R Q D [ % ]	岩盤区分		孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平载荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 ( cm / 時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	コアチップ / ピット	給圧 ( KN · MPa )	回転数 ( rpm )	送水圧 ( MPa )	送水量 ( l / 分 )	排水量 ( l / 分 )					
															( N 値 )	値		( N 値 ~ 深度 )	0	10	20	30												40	50			
	8.59	26.12	[ 柱状図 ]	花崗斑岩	浅黄橙	Dg	Vg	δ	3		26.44m シーム。傾斜 0°。幅 0.2cm 程度の明褐色粘土からなる。	7	17	130	CL	[ CL ]									6	3	35.00											
	5.06	29.65									28.75 ~ 35.00m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。 29.00 ~ 35.00m: 傾斜 75° 程度の節理が発達している。																								7	17	130	CL
	4.30	30.41		花崗斑岩	アブライト	Dg	Vg	cg	γ	3	30.41m: 径 2 ~ 5mm 程度の長石の斑晶が脈状に分布する。傾斜 56° 程度。	7	17	130	CL	[ CL ]											30.0	200	0.0							泥水 4		
	3.11	31.60			花崗斑岩	浅黄橙	Dg	IVg			32.51m シーム。傾斜 83°。幅 0.1cm 程度の暗灰色、明褐色、白色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。 33.96 ~ 35.00m: 節理に沿ってマンガンに伴う。 34.13m シーム。傾斜 82°。幅 0.1cm 程度の褐色、白色粘土からなる。周辺は微細な節理が発達している。	7	17	130																								
	-0.29	35.00																																				

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

Header information table including borehole name (4-5), location, survey period, and personnel details.

Main borehole log table with columns for depth, lithology, soil strength, and test results.



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 → cm R Q D □ [ % ]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN · MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l / 分)	排水量 (l / 分)	
																N 値 ~ 深度																
	-1.79	65.00	+++++	花崗斑岩	灰黄	IVg	cg	γ	2		63.66~63.75m: 変質帯。上盤67°、下盤37°。幅7.2cm程度。土砂状を呈する。上盤と下盤の傾斜方向が異なり、不規則な形状を示す。	0 50 100	CL'	[CL]		0 10 20 30 40 50								90	6 / 2 63.60	76	6 / 3 65.00	15.0	120	0.1	泥水3	1











### 3. 委託報告書(平成25年) ボーリング柱状図

余白







標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コ	ア	採取	率	最大	コア	長	R	Q	D	[ % ]	( 標準貫入 ) 試験		原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進 日	掘進 時	孔 徑	コ	ア	ノ	給	回	送	送	排																																																																										
																							( N ) 値	( 吹入 )																																																																																							
																							( MPa )	( 分 )																																																																																							
70			花崗斑岩	灰褐色	Dg, Cg, Dg	Vg, Vg, Vg	cg, cg		δ, γ	2	68.52m: 傾斜70°で、幅2~5mmの白~明黄褐色粘土状帯。 68.52~68.84m: 全体に粘土化進む。 ●68.84~69.00m: 破砕帯 68.84~68.93m: 粘土混じり礫状破砕部(Hj)。上端50°で不明瞭、下端55°でやや波打つ。幅2mm。径5~10mmの粘土化した岩片を主体とする。 68.93~68.95m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下端50°でやや波打つ。幅20~30mm。径5~18mmの粘土化した岩片を多く含む。 68.95~69.00m: 粘土混じり礫状破砕部(Hj)。下端45°でやや波打つ。幅32~35mm。径5~10mmの粘土化した岩片を主体とする。下端に幅2mmの硬質な灰褐色粘土を挟む。 69.06~69.18m: 傾斜60~80°、幅2~8mmの灰赤色粘土を挟む。 71.21~71.35m: 著しく軟化し、粘土脈が傾斜40~60°で分布 74.28~75.50m: 不規則な割れ目に灰白色粘土を縦目状に伴う。 75.50~77.75m: 傾斜10~30°と、斜交する50~70°の割れ目が分布。 ●78.77~79.19m: 破砕帯 粘土質礫状破砕部(Hj)。上端32°で湾曲、下端63°で直線的。岩組織は残留するが全体が軟化する。79.15m以下に傾斜60°、幅1~3mmの灰赤色粘土脈が分布。 79.25~79.85m: 傾斜10~30°と60~70°の割れ目が約1cm間隔で分布。下端に傾斜50°、幅2mmの粘土を伴う。 79.85~80.08m: 著しく軟化する。 80.08~81.00m: 互いに交差する傾斜40~60°の割れ目が多く、コアは径5~20mmの岩片状を呈する。 ●81.20~81.42m: 破砕帯 81.20~81.30m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。上端40°で一部湾曲、下端35°で直線的。幅50~60mm。 81.30m: 粘土状破砕部(Hc-1)。傾斜35°。幅2~4mm。灰赤色。 81.30~81.42m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下端60°でやや湾曲し灰赤色粘土を伴う。 81.42~87.14m: 傾斜30~70°と、斜交する30~70°の割れ目が分布。一部で硬くなり短柱状を呈する。 87.14~88.35m: 径5~40mmに角礫化し、岩片間に白色粘土脈が分布。 ●89.91~89.95m: 破砕帯 礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。上端50°。下端45°で両端とも直線的。幅15~20mm。 ●90.26~90.84m: 破砕帯 90.26~90.31m: 粘土混り礫状破砕部(Hj)。上端50°で波打ち、下端70°で直線的。幅15~20mm。幅1~2mmの粘土を伴う。 90.31~90.37m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下端70°で直線的。幅20~35mm 90.37~90.66m: 粘土混り礫状破砕部(Hj)。下端75°で直線的。径30mmまでの岩片間に幅0.5~1mmの白~灰赤色粘土を伴う。 90.66m: 粘土状破砕部(Hc-1)。 傾斜75°で直線的。幅2mm。赤灰色。 90.66~90.72m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下端60°で波打つ。幅5~20mm。 90.72~90.84m: 粘土混り礫状破砕部(Hj)。下端50°。粘土化した岩片と基質からなる。 ●91.26~91.52m: 破砕帯 91.26~91.31m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。上端60°で直線的。下端63°で湾曲する。幅20~40mm。 91.31~91.33m: 礫混り粘土状破砕部(Hc-1)。下端63°。幅8~15mm。赤灰色。 91.33~91.52m: 粘土混り礫状破砕部(Hj)。下端30°で不明瞭。白~灰赤色粘土を伴う。 ●93.12~93.24m: 破砕帯 93.12~93.20m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。上端65°。下端30°で両端とも直線的。幅50~100mmと膨縮する。 93.20m: 粘土状破砕部(Hc-1)。傾斜30°で直線的。幅2mm。灰赤色。 93.20~93.24m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下端55°で直線的。幅30mm。 93.24~95.23m: 著しく実質し、岩片間を灰白色粘土が充填する。 94.76m: 55°、95.07m: 傾斜65°の割れ目に幅1~2mmの灰白色粘土脈を伴う。 95.23~99.46m: 岩片状を呈し、割れ目は傾斜20~50°が主体で、交差する30~50°のものが分布する。 98.37~98.44m: 著しく軟化する。下端に幅2~5mmの赤灰色粘土を伴う。 99.46~99.68m: 傾斜50~60°の割れ目が平行に分布。割れ目沿いに砂状化し、粘土脈を挟む。	0 50 100		CL, D, CL, D, CL, D, CL, D, CL, D, CL, D, CL, D	0 10 20 30 40 50	3/22	115	3.0	120	0.1	0	0		3/23	75	3.0	120	0.1	0	0		3/29	105	3.0	120	0.1	0	0		3/30	85	3.0	120	0.1	0	0		4/1	90	3.0	120	0.1	0	1		4/2	95	3.0	120	0.1	0	1		4/3	65	3.0	120	0.1	0	1		4/4	90	3.0	120	0.1	0	1		4/4	80	3.0	120	0.1	0	1		4/5	55	3.0	120	0.1	0	2		4/6	75	3.0	120	0.1	0	2		4/10	60	3.0	120	0.1	0	1	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日	標準貫入 ( ) 試験 ( N 値 ~ 深度 ) 図					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 ( cm / 時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 ( kN · MPa )	回転数 ( rpm )	送水圧 ( MPa )	送水量 ( L / 分 )	排水量 ( L / 分 )	
														0	10	20	30	40												50
	50.46	100.00		花崗斑岩	灰黄緑	Dg	cg	δ	2	●99.68~99.71m: 破碎帯 99.68~99.69m: 砂混り粘土状破碎部 (Ho-2)。上端65'、下端63' ともに直線的。幅8mm。灰赤色。 99.69~99.71m: 砂質粘土状破碎部 (Hb)。下端65' で直線的。幅12mm。	4 [0]	CL										4/10	60	86	ダブル コアチップ ダイヤモンド	3.0	120	0.1	泥水	1

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.									1
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	---

ボーリング名	D1-2		調査位置		北緯		東経	
発注機関					調査期間			
調査業者名				主任技師	現場代理人	コ鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	6.95 m	角	180° 上 90° 下 30.0°	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総掘削長	33.00 m			試験機	ハンマー落下用具		ポンプ	
					エンジン			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目形状	風化	変質	記	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	〔 % 〕	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値~深度) 図	試験	原位置試験 (孔内水平観測)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)											
		1.05	盛土	黒						0.00~6.81m: 盛土 0.00~0.31m: 砕石 岩種は細粒砂岩。泥岩。最大径30mm。 0.31~2.84m: 砂礫 礫は径2~10mmの細礫主体で、径60mmまでの角礫を含む。礫種は花崗斑岩、アライト主体でまれに黒色の頁岩を含む。基質は粗砂主体で不均質。細粒分はごく少量で細かい。 2.84~6.81m: シルト質砂礫 礫は最大160mmまでの花崗斑岩礫主体で、アライト礫もみられる。シルト分を含み、上位層に比べてやや締まりが良い。 3.30~3.45m: 泥岩礫が混じる。 4.35m: 木片あり。20×50mm。		0					▽ 3.41 ▽ 3.49					3/16	115 / ケーシング	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水3	3													
		6.81		黄褐															▽ 4.00						115 / ケーシング	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水3	1											
				明黄褐															▽ 5.40 ▽ 3.80						115 / ケーシング	ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水3	2											
			花崗斑岩							6.81~33.00m: 花崗斑岩 (Gp) 6.81~10.58m: 傾斜40~60°と微細な割れ目主体。斜交する40~60°の割れ目も分布する。割れ目沿いの砂状化や、粘土の挟みみられる。 8.56m割れ目周縁幅2~3mmが淡緑色化し、微細な雲母が晶出する。 11.53~11.95m: 土砂~岩片状。 11.95~12.13m: 割れ目沿いに幅1mmの軟弱な灰白色粘土脈が分布。 12.13~12.38m: 一部を除き、風化で割れ目は消滅する。 ●12.38~12.97m: 破砕帯 (D-1) 12.38~12.80m: 粘土混り礫状破砕部 (Hj)。上端60°で幅1~3mmの白色粘土を挟み、下端45°で両端とも直線的。岩組織は残存する。岩片間に幅0.5~1mmの粘土を挟む。 12.86~12.87m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。下端45°で直線的。幅5mm。灰黄色。 12.87~12.91m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。下端45°で不明瞭。幅35mm。 12.91~12.97m: 粘土混り礫状破砕部 (Hj)。下端45°で不明瞭。幅40mm。軟化した岩片間に幅0.5~1mmの粘土を挟む。 12.97~16.24m: 上位に比べ割れ目は少なく、岩片~短柱状を呈する。傾斜40~60°の割れ目が主体で、一部で割れ目沿いに砂状化する。 13.73~13.77m: 傾斜55~65°の割れ目が2~10mm間隔で数本分布し、全体に軟化する。 16.24~17.66m: 著しく軟化するが岩組織と割れ目は残留する。 17.66~19.78m: 傾斜30~60°の割れ目を主体とし、岩片~短柱状を呈する。 18.77m: 傾斜55°で幅2mmの灰黄色粘土を挟む。 ●19.78~19.87m: 破砕帯 礫質粘土状破砕部 (Hb)。上端53°、下端63°で両端とも直線的。幅10~50mmと膨脹する。 19.87~21.50m: 傾斜60°の割れ目が数cm間隔で分布。一部粘土挟在。 21.50~23.18m: 割れ目が多くなるが、岩片は硬質。一部粘土化する。 21.50m: 傾斜50°の割れ目に幅2~3mmの軟弱粘土を挟む。 23.18~24.04m: 硬質で割れ目が少なく、一部に白~灰黄色粘土挟在。 24.04~25.22m: やや軟化する。傾斜20~60°の割れ目主体。 24.80~24.82m: 傾斜60°、幅15mmで粘土化する。																																

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	記号	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日	標準貫入 ( ) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN · MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)				
														( N 値 )	( 深度 )															
		30		花崗斑岩			IIIg	γ	2	26.67m: 傾斜55°の割れ目に幅1mmの白色粘土を挟む。 27.30~27.32m: 上下端60°の割れ目に沿って軟質となる。 28.42~28.46m: 上端65°, 下端55°の割れ目に沿って細片化する。下端部が淡緑化し雲母が風出。 30.20~31.44m: 互いに交差する傾斜30~60°の割れ目が分布し、短柱状コアが主体となる。岩片は硬質。 30.68~30.75m: 上下端60°の割れ目間で、割れ目に白色粘土が挟在。 ●31.44~31.46m: 破砕帯 粘土状破砕部 (Hc-1)。上下端35°で直線的。幅10~12mm。径1~2mmの石英を含む。 31.46~33.00m: 傾斜30~60°の割れ目。微細な割れ目が1~3cm間隔で分布し、岩片状を呈する。割れ目の一部には白~赤灰色の粘土を伴う。	CM' CL' CM' CL'										3/22	95	86	ダブルコアチップ / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1		泥水6	6
		-21.63 33.00					IIIg IVg IIIg IVg IVg Dg Vg	cg δ	3										3/23	145			2.5	150	0.1		泥水5	5		

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

1

事業・工事名

Table with header information: Boring Name (D1-3), Survey Location, Issued Agency, Survey Period, Eastern Longitude, Surveying Agency Name, Chief Engineer, Modern Person, Surveying Agency, Boring Responsibility, Borehole Standard Height (6.90m), Direction, Test Machine, Hammer/Fall Tool, Total Drilling Length (60.00m), Used Machine, Engine, and Pump.

Main borehole log table with columns: Scale (m), Height (m), Depth (m), Column Diagram, Rock Type, Color, Hardness, Core Shape, Fracture State, Change, Notes, Core Recovery Rate, Maximum Core Length, Standard Test Data (Pressure, Speed, etc.), and Discharge Volume. It details geological layers such as Improved Soil, Sandstone, and Sandstone with various fracturing patterns and depths.

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入 ) 試験		原位置試験 (孔内水平試験)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	給圧 (kN/MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)
															( N 値 ~ 深度 ) 図	( N 値 )										
30			[柱状図]	明礬灰	IVg	IVg	IVg	IVg	δ	2	26.97~27.26m: 上端45°, 下端50°の割れ目は風化で全体が軟化。	0 10 20 30 40 50	CL'		5/21	160	0.5	180	0.1	泥水3	0					
											27.26~28.43m: 傾斜40~60°の割れ目、微細な割れ目が分布する。															
											27.70m: 傾斜60°の割れ目沿いで、幅5mm程度長さ石が粘土化する。															
											28.43~29.95m: 傾斜40~60°の割れ目主体。															
											29.95~32.63m: 傾斜20~40°と、斜交する50~70°の割れ目が分布し、割れ目沿いの砂状化がみられる。															
											32.63~33.30m: 著しく軟化し、割れ目はその周縁で砂状化する。															
											33.30~34.23m: 全体に傾斜40~50°, 幅1~8mmで灰白色粘土が挟在する。															
											●34.23~34.52m: 破砕帯 (D-1)															
											34.23~34.39m: 粘土混り礫状破砕部 (Hj)。上端50°, 下端55°で両端とも直線的。径5~10mmの岩片と、網状に分布する粘土からなる															
											34.30m: 傾斜30°, 幅1~2mmの灰黄色粘土を挟む。															
											34.39~34.40m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。傾斜55°, 幅5~7mm, 白~灰黄色。															
											34.40~34.52m: 粘土混り礫状破砕部 (Hj)。下端55°で直線的。															
40			花崗斑岩	明礬灰	IVg	IVg	IVg	IVg	γ	3	35.81~36.53m: 傾斜40~60°の割れ目主体。全体に岩片は硬い。	0 10 20 30 40 50	D'		5/23	130	1.0	180	0.1	泥水3	0					
											36.53~36.82m: 傾斜60~70°の割れ目が1~3cm間隔で分布し、コアは岩片状となる。															
											36.67m: 傾斜50°の割れ目の上盤側に幅5~10mmが淡灰緑化し、微細な鉄屑、金属物が付着する。															
											36.92~44.01m: 傾斜40~60°の割れ目主体で、一部で60~80°のものが斜交する。岩片は概ね硬い。															
											38.34~38.41m: 傾斜45°の割れ目が5~30mm間隔で平行に分布し、細片化する。下盤部に灰白色粘土を伴い、周縁数mmが淡灰緑化する。															
											39.80m: 灰白色粘土挟在。傾斜45°, 幅5mm。周縁幅数mmの褐色化強い。															
											40.61m: 傾斜45°の割れ目沿いが細片化する。下盤側の幅5mmが淡灰緑化し、幅2mmの石英脈を伴う。															
											40.87~44.01m: 傾斜40~50°の割れ目がほぼ平行に3~10mm間隔で分布する。割れ目は褐色化する。一部に粘土挟在。															
											44.01~44.29m: 上下位に比べ軟化し、一部で割れ目沿いに砂状化する															
											44.49m, 45.32m, 46.28m: 割れ目周縁が幅5~10mmで淡灰緑化し、微細な雲母を伴う。															
											46.53~46.60m: 変質により礫質粘土状を呈する。															
											50													花崗斑岩	明礬灰	IVg
51.74m: 褐色粘土挟在。傾斜40°, 幅5mm。下盤幅5~8mmが淡灰緑化する																										
●52.13~52.28m: 破砕帯																										
52.13m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。傾斜50°で直線的。幅4~5mm, にぶい褐色。																										
52.13~52.16m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。下端46°で波打つ。幅5~10mm。																										
52.16~52.20m: 粘土混り礫状破砕部 (Hj)。下端60°で波打つ。白色粘土が網状に分布する。																										
52.28~54.20m: 硬質岩片~角礫状部と著しく軟化する部分が5~20cm間隔で交互に存在する。																										
54.20~55.18m: 岩片は硬質となる																										
55.18~56.88m: 傾斜40~60°主体で40~50°の割れ目が斜交する。一部に幅1~2mmで暗緑色化した粘土が挟在。微細な黄鉄鉱が多く晶出。																										
●56.88~57.24m: 破砕帯																										
56.88~57.15m: 粘土混り礫状破砕部 (Hj)。上端40°で直線的。下端58°で波打つ。																										
57.15~57.20m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。下端60°で波打つ。幅20~28mm																										
57.20m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。下端60°で直線的。幅2~8mm。にぶい黄褐色。																										
57.20~57.24m: 粘土混り礫状破砕部 (Hj)。下端60°でやや不明瞭。幅25mm。灰白色粘土が網状に分布。																										
58.29~58.53m: 径30mmまでの岩片と砂状の基質からなる角礫状部。																										





標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	標準貫入 ( N 値 ~ 深度 ) 試験		原位置試験 ( 孔内水平試験 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 ( cm / 時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	コアラチューブ / ビット	給圧 ( kN / MPa )	回転数 ( rpm )	送水圧 ( MPa )	送水量 ( L / 分 )	排水量 ( L / 分 )																																																																																																																																																																																																																																																																								
														( N 値 )	( 深度 )																																																																																																																																																																																																																																																																																			
30				明礬灰	Dg	IVg	cg	δ	2	26.78~27.75m: 微細な割れ目が1~3cm間隔で分布し、ハンマー打撃で細片化する。	CL'	4	(0)	100	0	0	5/20	80	ダブルコアチューブ / タイヤモンロビット	1.0	120	0.1	泥水?	2																																																																																																																																																																																																																																																																										
																														灰礬	Cg	Vg	cg	γ	27.75~28.43m: 破砕帯 27.75~27.91m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。上端20'で不明瞭、下端15'で直線的。径10mmまでの石英粒、粘土化した岩片を多く含む。 27.91~28.33m: 粘土混り礫状破砕部 (Hj)。下端5'で直線的。岩片間に網状に粘土が分布。 28.33m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。傾斜53'。幅2~5mm。灰褐色。 28.33~28.43m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。下端60'で直線的。幅60mm。 29.73~30.20m: 硬質で良好な岩盤となる。	CL'	5	(0)	100	0	0	5/21	95	ダブルコアチューブ / タイヤモンロビット	1.0	150	0.1	泥水?	2																																																																																																																																																																																																																																																	
																																																										灰礬	Cg	Vg	cg	γ	30.20~34.00m: 白色粘土挟在。傾斜60'で直線的でシャープ。幅1~5mm。 34.00~34.63m: 割れ目が密集する	CM'	6	(0)	100	0	0	5/22	90	ダブルコアチューブ / タイヤモンロビット	1.0	150	0.1	泥水?	1																																																																																																																																																																																																																					
																																																																																						花崗斑岩	Bg	IIIg	cg	δ	34.63~38.95m: 割れ目が密集する 38.95~39.34m: 多くの割れ目に、幅1mm前後の粘土脈を伴う。 39.34~39.41m: 細片化し、網状に粘土脈が分布。上端25'、下端30'で両端とも直線的に幅2~4mmの灰白~にぶい黄褐色の粘土が分布。 39.50m: 白色鉱物脈。傾斜20'。幅2~4mm。 39.90~40.68m: 傾斜40~50'の割れ目が平行に分布。 40.68~43.34m: 傾斜20~50'の割れ目自体で、微細な割れ目も分布。一部高角割れ目が斜交して角礫化、またマンガン汚染を受ける。 42.37~42.61m: 割れ目が密集する 47.67~48.84m: 傾斜40~50'の割れ目が平行に分布する。一部で砂状化する。 48.84~49.83m: 傾斜40~50'と、微細な割れ目が主体。49.17mまでは割れ目沿いの砂状化が多い。一部で幅0.5mmの白~明黄褐色粘土を挟む 49.83~52.07m: 傾斜20~40'の割れ目が分布する。一部緑灰色化する 51.30m, 51.33m: 傾斜38', 47'の各割れ目に微細な黄鉄鉱が晶出する。 52.07~52.55m: 変質により著しく軟化する。網状に粘土脈が発達する 52.07m, 52.52m: 方解石脈。各々傾斜45', 幅7~8mm, 傾斜25', 幅3~5mm 52.55~52.97m: 不規則な微細割れ目が多く、岩片化する。一部に方解石脈や緑灰色粘土挟在。	CL'	7	(0)	100	0	5/23	86	ダブルコアチューブ / タイヤモンロビット	2.0	150	0.1	泥水?	1																																																																																																																																																																																										
																																																																																																																				花崗斑岩	Bg	IVg	cg	γ	52.97~53.46m: 破砕帯 52.97~53.10m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。上端50'、下端不明瞭。幅70~80mm。 53.05m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。傾斜45'で直線的。幅3mm。褐灰色。 53.10~53.44m: 粘土混り角礫状破砕部 (Hj)。下端45'でやや波打つ。径5~20mmの岩片と粘土化した基質からなり、基質中に粘土が10~50'で分布する。 53.44~53.46m: 礫混り粘土状破砕部 (Hc-2)。下端45'で直線的。幅4~12mm。灰白~緑灰色。 53.46~53.68m: 著しく軟化する。一部に緑灰色粘土脈を挟む。 53.68~56.54m: 交差する割れ目が細かく分布。コアは細片~岩片状。 54.44m: 方解石脈。傾斜70'。幅3~8mm。上端割れは開口、下部には密着。 56.54~56.57m: 礫質粘土状破砕部。 56.57~59.47m: 不規則に交差する割れ目が多く、コアは岩片状を主とする。 59.47~60.06m: 幅1mmの白色粘土脈を多く挟む。 60.06~60.38m: 破砕帯 60.06m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。傾斜45'で直線的。幅3mm。暗緑灰色。軟弱~一部半固結状。 60.06~60.16m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。下端不明瞭。幅30~50mm。 60.16~60.38m: 粘土混り礫状破砕部 (Hj)。下端60'で直線的。岩片間に灰白色粘土が網状に分布。 60.38~61.39m: 割れ目が多く岩片状で、粘土脈や白色鉱物脈を伴う。 61.39~61.47m: 径5~20mmの岩片と粘土化した基質からなる。 61.47~61.52m: 破砕帯 61.47~61.52m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。上端5'、下端45'で両端とも直線的。幅50mm。 61.52m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。傾斜45'で直線的。幅1mm。暗緑灰色。 61.52~62.74m: 傾斜10~60'主体で、これらに交差する割れ目が分布する。多くの割れ目に粘土を挟む。 62.42m以深、変質による軟化著しい 62.74~63.23m: 多くの岩片間に薄く淡緑灰~白色粘土が付着する。 63.29~63.67m: 著しく軟化する。	CL'	8	(0)	100	0	5/24	50	ダブルコアチューブ / タイヤモンロビット	2.0	150	0.1	泥水?	1																																																																																																																																																												
																																																																																																																																																			花崗斑岩	Bg	Vg	cg	δ	60.38~61.39m: 割れ目が多く岩片状で、粘土脈や白色鉱物脈を伴う。 61.39~61.47m: 径5~20mmの岩片と粘土化した基質からなる。 61.47~61.52m: 破砕帯 61.47~61.52m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。上端5'、下端45'で両端とも直線的。幅50mm。 61.52m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。傾斜45'で直線的。幅1mm。暗緑灰色。 61.52~62.74m: 傾斜10~60'主体で、これらに交差する割れ目が分布する。多くの割れ目に粘土を挟む。 62.42m以深、変質による軟化著しい 62.74~63.23m: 多くの岩片間に薄く淡緑灰~白色粘土が付着する。 63.29~63.67m: 著しく軟化する。	CL'	9	(0)	100	0	5/25	40	ダブルコアチューブ / タイヤモンロビット	2.0	150	0.1	泥水?	1																																																																																																																													
																																																																																																																																																																																花崗斑岩	Bg	Vg	cg	γ	61.39~61.47m: 径5~20mmの岩片と粘土化した基質からなる。 61.47~61.52m: 破砕帯 61.47~61.52m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。上端5'、下端45'で両端とも直線的。幅50mm。 61.52m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。傾斜45'で直線的。幅1mm。暗緑灰色。 61.52~62.74m: 傾斜10~60'主体で、これらに交差する割れ目が分布する。多くの割れ目に粘土を挟む。 62.42m以深、変質による軟化著しい 62.74~63.23m: 多くの岩片間に薄く淡緑灰~白色粘土が付着する。 63.29~63.67m: 著しく軟化する。	CL'	10	(0)	100	0	5/27	60	ダブルコアチューブ / タイヤモンロビット	2.0	150	0.1	泥水?	1																																																																																																
																																																																																																																																																																																																													花崗斑岩	Bg	Vg	cg	γ	61.47~61.52m: 破砕帯 61.47~61.52m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。上端5'、下端45'で両端とも直線的。幅50mm。 61.52m: 粘土状破砕部 (Hc-1)。傾斜45'で直線的。幅1mm。暗緑灰色。 61.52~62.74m: 傾斜10~60'主体で、これらに交差する割れ目が分布する。多くの割れ目に粘土を挟む。 62.42m以深、変質による軟化著しい 62.74~63.23m: 多くの岩片間に薄く淡緑灰~白色粘土が付着する。 63.29~63.67m: 著しく軟化する。	CL'	11	(0)	100	0	5/28	75	ダブルコアチューブ / タイヤモンロビット	2.0	150	0.1	泥水?	1																																																																			
																																																																																																																																																																																																																																										花崗斑岩	Bg	Vg	cg	γ	61.52~62.74m: 傾斜10~60'主体で、これらに交差する割れ目が分布する。多くの割れ目に粘土を挟む。 62.42m以深、変質による軟化著しい 62.74~63.23m: 多くの岩片間に薄く淡緑灰~白色粘土が付着する。 63.29~63.67m: 著しく軟化する。	CL'	12	(0)	100	0	5/29	65	ダブルコアチューブ / タイヤモンロビット	2.0	150	0.1	泥水?	1																																						
																																																																																																																																																																																																																																																																							花崗斑岩	Bg	Vg	cg	γ	62.74~63.23m: 多くの岩片間に薄く淡緑灰~白色粘土が付着する。 63.29~63.67m: 著しく軟化する。	CL'	13	(0)	100	0	5/30	80	ダブルコアチューブ / タイヤモンロビット	1.0	150	0.1	泥水?	1									



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	記 事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 圧 (kn · MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)						
														( 標準貫入 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 ) 図																		
-42.55	70.00			花崗斑岩	灰褐色	Dg	Vg	cg	γ	3	●63.67~63.90m: 破碎帯 63.67~63.83m: 粘土混り礫状破碎部(Hj)。上端45°, 下端60°で両端とも不明瞭。径20mmまでの岩片間にごく白色粘土脈が網状に分布。 63.72m: 灰赤色粘土扶瓦。傾斜45°で直線的。幅2~3mm。 63.83~63.88m: 礫質粘土状破碎部(Hb)。下端70°で直線的。幅20~30mm 63.88~63.90m: 粘土状破碎部(Ho-1)。傾斜70°で直線的。幅5~10mm。赤灰色。半固結状。	CL																				
												Dg																				D
												Eg																				D
												Dg																				D
												Eg																				D
												Dg																				D
					Cg	D																										
					Bg	D																										
					明褐色	Dg	Vg	cg	2	63.90~64.05m: 径5~20mmの岩片と、粘土化した基質からなる。 64.05~66.65m: 傾斜30~60°と、これらに交差する40~80°の割れ目が分布。 66.65~67.05m: 変質で著しく軟化し、角礫状を呈する。 67.05~67.98m: 傾斜60~70°の割れ目が認められる。一部に白~暗緑灰色の粘土脈が分布。 67.98~70.00m: 割れ目は傾斜50~70°が主体。割れ目沿いの砂状化~細片化や暗緑灰色の粘土脈がみられる。	CL																					
											Eg	CL																				
											Dg	CL																				
											Eg	CL																				
											Dg	CL																				
											Eg	CL																				
					灰褐色	Dg	Vg	cg	2		CL																					
											Eg	CL																				
											Dg	CL																				
											Eg	CL																				
Dg	CL																															
Eg	CL																															
明褐色	Dg	Vg	cg	3		CL																										
						Eg	CL																									
						Dg	CL																									
						Eg	CL																									
						Dg	CL																									
						Eg	CL																									
明褐色	Dg	Vg	cg	2		CL																										
						Eg	CL																									
						Dg	CL																									
						Eg	CL																									
						Dg	CL																									
						Eg	CL																									



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位(測定月日)	標準貫入 試験		原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 送 水 量 (L/分)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	排 水 量 (L/分)																																												
															( N 値 )	( 図 )																																																						
30			[Image]	花崗斑岩	灰褐	Bg	IIg	bg	γ	2	23.96~24.47m: コアは柱状となる。24.47~25.80m: 傾斜30~50°の割れ目が1~6cm間隔で平行に分布する。一部で細片化する。25.80~27.20m: コアは短柱~柱状を主とする。一部割れ目交差部で細片化がみられる。27.20~28.48m: 堅硬でコアは長柱状を呈する。28.48~30.77m: 傾斜20~50°の割れ目が平行に分布する。割れ目に沿って褐色化する。コアは短柱~柱状を主とする。	[Diagram]	CH'		0	10	20	30	40	50	5/30	30	ダブルコアチューブ / ビット	3.0	200	0.1	泥水10	10																																										
																					5/31	25		4.0	150	0.1	泥水10	5																																										
																					6/1	20		4.0	300	0.1	泥水10	0																																										
																					6/2	25		2.0	200	0.1	泥水10	3																																										
																					40				花崗斑岩	明褐灰	Dg	Vg	δ	γ	3	30.77~31.57m: 上位に比べやや軟化する。傾斜30~50°の割れ目主体。割れ目沿いの砂状化がみられる。31.57~32.68m: 傾斜30~50°の割れ目を主体とする。32.68~32.76m: 風化で砂状化する。上端に明黄褐粘土を伴う。32.76~33.96m: 傾斜40~70°の割れ目が発達し、一部割れ目沿いに砂状化する。33.96~36.70m: 風化により、多くの割れ目沿いやコア表面で砂状化が認められる。36.50~36.70m: 多くの割れ目で灰白色粘土を挟む。36.70~38.73m: 傾斜50~70°と、斜交する20~40°の割れ目が分布。一部で径10~20mmに細片化する。37.73m: 灰白色粘土挟む。傾斜65°、幅1~2mm。周縁5mm前後が淡緑灰色化し、微細な金属鉱物が付着。38.73~38.82m: 砂状化と幅1mm以下の粘土脈を多く伴い劣化する。38.82~40.73m: 傾斜40~70°の割れ目を主体とする。40.73~40.85m: 上端55°、下端60°の割れ目に囲まれ砂状化する。幅2~3mmの灰白~灰赤色粘土脈を伴う。41.08~41.49m: 堅硬でコアは短柱状	[Diagram]	CL'		0	10	20	30	40	50	6/3	55	ダブルコアチューブ / タイヤモンビット	1.0	150	0.1	泥水10	1																					
																																										110																												
																																										6/4	80		ダブルコアチューブ / タイヤモンビット	1.5	150	0.1	泥水10	7																				
																																										105	86																											
																																										50				花崗斑岩	明褐灰	Dg	Vg	cg	γ	2	42.23~42.74m: 傾斜50~60°で幅1mm前後の石英脈が多数分布する。42.74~43.25m: 風化で割れ目は不明瞭となる。43.25~45.09m: 風化・実質により著しく軟化する。幅1~3mmの灰白色粘土を脈状または網状に伴う。45.09~45.82m: 傾斜30~50°の割れ目主体、割れ目沿いに砂状化する。45.82~45.89m: 粘土混り岩片状を呈する。灰白~灰黄色。47.47~47.89m: 破砕帯(D-1) 47.47~47.48m: 粘土状破砕部(Ho-1)。上端55°で直線的。幅3~6mm。灰褐色。少量の石英粒を含む。47.48~47.66m: 膠質粘土状破砕部(Hb)。下端は漸移的。幅67mm。径10mmまでの石英、粘土岩片を含む。47.66~47.86m: 粘土混り塊状破砕部(Hj)。下端63°で直線的。径10~40mmに岩片化し、岩片間は灰黄~灰白色に粘土化する。47.86~47.89m: 礫混り粘土状破砕部(Ho-2)。下端60°で直線的。幅15mm。径2~10mmの石英粒を含む。48.30~49.50m: 傾斜40~60°の割れ目主体で、一部で20~30°のものが斜交。一部砂状化~細片化する。52.75~54.00m: 堅硬でコアは短柱~柱状を主とする。傾斜20~60°の割れ目が分布する。	[Diagram]	CM'		0	10	20	30	40	50	6/5	110	ダブルコアチューブ / タイヤモンビット	1.0	150	0.1	泥水10	5
																																																															6/6	100		ダブルコアチューブ / タイヤモンビット	2.0	150	0.1	泥水5
																					6/7	25		3.0	200	0.1	泥水10	8																																										
																					6/8	25		3.0	200	0.1	泥水10	8																																										
6/9	20	3.0	150	0.1	泥水10	7																																																																

余白

#### 4. 委託報告書(平成27年) ボーリング柱状図

余白

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.												1
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

事業・工事名

ボーリング名	Br-1		調査位置						北緯			
発注機関					調査期間				東経			
調査業者名					主任技師	現場人	コ鑑	ア者	ボーリング責任者			
孔口標高	94.37 m	角	180°		方	北 0°	地盤勾配		使用機種	ハンマー落下用具		
総掘削長	130.00 m	度	90°		向	東 90°	鉛直 90°		0.0°	試験機	ポンプ	

標尺	深度	柱状図	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 → cm R Q D └ [ % ]	岩級	孔内水位	測定月日	標準貫入		試験	原位置試験 (孔内水深記載)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm)	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	排水量 (L/分)							
															(N値)	(深度)																	
10	94.21	0.16	硬質シルト	黒緑	Vg	割れ目なし	3	δ	0.00~0.16m: 硬質シルト極めて軟らかい。0.11~0.16m: 最大径2.5mmの歪角~歪円礫を含む。	3	D'										4/21	95	140 / ケーシング										
			にぶい黄緑	Eg	割れ目なし	3	δ	0.16~106.11m: アブライト。0.16~2.80m: 割れ目に木根が多い。0.34~0.42m: 幅18~22mmの硬質シリ砂状シルト状を呈する。	3	D'																							
			灰白	Dg	割れ目なし	3	δ	0.90m: 幅0.5~2mmの褐色粘土を挟在する。	3	D'																							
			淡黄緑	Dg	割れ目なし	3	δ	2.96m, 3.36m: 幅0~4mmの褐色粘土を挟在する。	3	D'																							
			明黄緑	Dg	割れ目なし	3	δ	3.58~4.81m: 変質により石英粒(径2~8mm)を残して粘土化している。割れ目が不明瞭となる。	3	D'																							
			灰白	Dg	割れ目なし	3	δ	4.47m: 幅2~10mmの灰白色粘土~シルトを挟在する。	3	D'																							
			にぶい黄緑	Dg	割れ目なし	3	δ	5.03~5.26m: 幅1mmの灰白色粘土及び褐色粘土を挟在する割れ目が発達する。	3	D'																							
			灰白	Dg	割れ目なし	3	δ	6.14~6.83m: 幅5mm以下の灰白色粘土及び褐色粘土を挟在する。	3	D'																							
			にぶい黄緑	Dg	割れ目なし	3	δ	7.23~7.97m: 幅3mm以下の褐色粘土、灰白色粘土を多数挟在する。	3	D'																							
			灰白	Dg	割れ目なし	3	δ	8.17~8.75m: 幅2mm以下の褐色粘土、灰白色粘土を多数挟在する。	3	D'																							
20			赤灰	Dg	割れ目なし	2	β	8.86~8.87m: 交差する割れ目に沿って幅1~5mmの褐色粘土及び灰白色粘土を挟在する。	2	CH'																							
			にぶい黄緑	Dg	割れ目なし	2	β	9.00~9.63m: 幅3mm以下の灰白色粘土、褐色粘土を多数挟在する。	2	CH'																							
			灰白	Dg	割れ目なし	2	β	11.42~11.58m: 砂~岩片状を呈し、一部に幅1~2mmの褐色粘土を挟在する。	2	CH'																							
			にぶい黄緑	Dg	割れ目なし	2	β	12.44m: 幅10mm程度の黄灰色粘土を挟在する。	2	CH'																							
			赤灰	Dg	割れ目なし	2	β	13.60m, 13.96m: 幅1~2mmの灰白色粘土を挟在する。	2	CH'																							
			にぶい黄緑	Dg	割れ目なし	2	β	14.84m: 幅1~2mmの灰白色粘土を挟在する。	2	CH'																							
			灰白	Dg	割れ目なし	2	β	15.06~15.84m: 幅2mm以下の灰白色粘土、褐色粘土を多数挟在する。	2	CH'																							
			にぶい黄緑	Dg	割れ目なし	2	β	15.51~15.74m: 高角度の割れ目が密に発達する。	2	CH'																							
			赤灰	Dg	割れ目なし	2	β	15.53~15.69m: 砂状~礫状を呈する。	2	CH'																							
			にぶい黄緑	Dg	割れ目なし	2	β	17.48~18.22m: 幅5mm以下の灰白色粘土、褐色粘土を多数挟在する。	2	CH'																							
		灰白	Dg	割れ目なし	2	β	18.29m: 幅2~15mmの淡黄褐色粘土を挟在する。	2	CH'																								
		にぶい黄緑	Dg	割れ目なし	2	β	18.34~19.54m: 幅2mm以下の灰白色粘土を多数挟在する。	2	CH'																								
		赤灰	Dg	割れ目なし	2	β	19.69~20.30m: 粗目状に割れ目が発達し、礫状を呈する。割れ目に沿って幅1mm程度の褐色粘土を挟在する。	2	CH'																								
		にぶい黄緑	Dg	割れ目なし	2	β	20.44m: 幅1mmの灰白色粘土を挟在する。	2	CH'																								
		灰白	Dg	割れ目なし	2	β	21.81m: 幅0.5~2mmの灰白色粘土を挟在する。	2	CH'																								
		明黄緑	Dg	割れ目なし	2	β	21.93~22.34m: 高・低角度の割れ目が交差し、礫状を呈する。	2	CH'																								
		にぶい黄緑	Dg	割れ目なし	2	β	22.13~23.10m: 幅5mm以下灰白色粘土を多数挟在する。	2	CH'																								
		赤灰	Dg	割れ目なし	2	β	23.07~24.22m: 角礫状を呈し、割れ目に沿ってフィルム状~幅2.5mmの褐色粘土を挟在する。	2	CH'																								
		明黄緑	Dg	割れ目なし	2	β	23.28~27.40m: 幅0.5~2mmの灰白色粘土を多数挟在する。	2	CH'																								

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 (%)		岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)															
												最大コア長 (cm)	最小コア長 (cm)			N値 ~ 深度 (m) 図																														
												0 50 100				0 10 20 30 40 50																														
		30			明黄褐色	IVg	cg	γ			27.56m: 幅1mmの褐色粘土を挟在する。 27.72~28.76m: 高角度の割れ目が顯著になる。 27.73~28.05m: フィルム状の灰白色粘土を複数挟在する。 28.97~29.74m: 不規則な割れ目が発達する。 30.57~31.25m: 高角度の割れ目が卓越する。 31.36~31.80m: 傾斜30~50°の平行的な割れ目が発達する。 31.68~31.96m: フィルム状の褐色粘土を複数挟在する。 ●33.27~35.90m: 破碎帯。 33.27~33.62m: 細隙混じり粘土状破砕部(Hh)。基質は粘土~砂からなる。上端の傾斜80°。 33.62~34.65m: 角礫状破砕部(Hj)。不規則な割れ目に沿ってシルト~砂を挟む。 34.65~34.66m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅10~15mmの明黄褐色粘土からなる。 34.66~35.90m: 角礫状破砕部(Hj)。角礫状~砂状を呈する。34.80~34.87mには石英粒が密集する。下端に幅2~10mmの緑褐~灰色粘土を挟在し。傾斜は80°。 38.27~38.68m: 割れ目が密集し。幅2~5mmで細隙状を呈する。 38.75~40.97m: 珪化する。 40.28~40.30m: 割れ目に沿って礫状を呈する。 43.32~43.34m: 幅2~3mmの優白色鉱物脈を挟在する。 44.35~46.82m: 優白色鉱物脈を挟在する割れ目が発達する。 45.54~45.73m: 不規則な割れ目が集中する。 46.30~46.44m: 割れ目に沿って幅10~30mmで細隙状を呈する。 46.64m, 46.82m: 幅4mmの白色鉱物脈を挟在する。 47.56~47.57m: 角礫状を呈する。 48.16~48.22m: 岩片状を呈する。 48.73m, 48.78m: 割れ目に沿って幅4~7mmで砂状~細隙状を呈する。 49.50~49.52m: 細隙状~岩片状を呈する。 51.32~51.53m: 割れ目が集中し。一部礫状を呈する。 52.33~52.58m: 割れ目が集中し。岩片状~礫状を呈する。 52.76~53.90m: 高角度の割れ目を主体とし。黒色酸化物の挟在が顯著である。 54.12m, 54.83m: それぞれ幅2mmの褐色。灰白色の粘土を挟在する。 55.13m: 幅3mmの赤褐色粘土を挟在する。 55.32~55.48m: 割れ目が集中し。一部に幅2~4mmの淡緑灰色粘土を挟在する。 55.63~56.36m: 幅3~4mmの緑灰色粘土を挟在する割れ目が発達する。 56.55~58.82m: 傾斜50°の割れ目が連続し。一部に幅2~6mmの灰白色粘土を挟在する。 ●59.18~59.27m: 破碎帯。 59.18~59.26m: 角礫状破砕部(Hj)。上端の傾斜は60°で。幅5mmの細粒砂~シルトを挟む。砂の基質中に径10~20mmの石英が密集する。 59.26~59.27m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅4~5mmの明褐色粘土。幅5~14mmの淡緑灰色粘土からなる。傾斜は40°。 59.28~59.41m: 角礫状を呈し。シルト~粘土にやや富む。 60.00~61.02m: 砂状~礫状を呈し。下端に幅8mmの暗褐色粘土を挟在する。 62.02~62.387m: 傾斜60~70°の平行的な割れ目が発達する。																																			
		40			灰白	IVg	cg	γ																																						
		50			明黄褐色	IIIg	bg	β																																						
		60			淡赤褐色	IVg	cg	γ																																						



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記	岩級区分	標準貫入 (N値~深度) 試験	孔内水位 (m) / 測定月日	原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (L/分)	送水圧 (MPa)																								
																						1.0																									
	70			灰白	Cg	Vg		3		63.33~63.85m: 傾斜約60°の平行な割れ目が発達する。	CL'																																				
				灰白	Bg	Ng		3		65.05~65.52m: 低角度の割れ目が主体となる。	CM'																																				
				淡黄橙	Bg	Ng		4		65.87m: 幅4mmの淡褐色のシルト~粘土を挟在する。	CL'																																				
				灰白	Bg	Ng		4		66.30~66.66m: 砂礫状~岩片状を呈する。	CM'																																				
				淡黄橙	Dg	Vg	cg	4		●67.63~70.76m: 破砕帯。	D'																																				
				灰白	Dg	Vg	cg	4		67.63~67.73m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。緑灰色粘土~シルトの基質中に角礫状の岩片を挟在する。上端の傾斜は75°。	CL'																																				
				淡黄橙	Dg	Vg	cg	4		67.73~69.27m: 角礫状破砕部(Hi)。割れ目に沿って淡緑灰色粘土~シルトを挟在する。	CM'																																				
				淡黄橙	Dg	Vg	cg	4		69.27~69.35m: 粘土状破砕部(Hc-2)。上端に幅7mmの黄灰色粘土を挟在する。傾斜60°。明緑灰色細礫混じりシルト~粘土からなる。	CL'																																				
				淡黄橙	Vg	cg	4		69.35~69.71m: 角礫状破砕部(Hj)。割れ目に沿って幅2mmの緑灰色粘土を挟在する。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		69.71~69.80m: 粘土状破砕部(Hc-2)。締まった淡緑灰色細礫混じり砂~粘土。	CL'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		69.80~70.00m: 角礫状破砕部(Hi)。一部に淡緑灰色粘土を挟在する。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		70.00~70.76m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。淡緑灰~緑灰色粘土中に角礫状の岩片を挟在する。下端の傾斜はおよそ80°だが、凹凸や湾曲が認められる。	CL'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		70.55~71.90m: 高角度の割れ目が卓越する。幅1~4mm程度の緑灰色粘土~シルトを複数挟在する。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		72.33~72.47m: 傾斜60~70°の割れ目が集中し、幅1~8mmの淡緑灰色粘土~シルトを挟在する。	CL'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		75.03~76.30m: 高角度の割れ目が発達する。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		76.17m: 幅4mmの灰色粘土を挟在する。	CL'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		76.40~76.70m: 岩片状を呈し、崩れる。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		76.84m, 76.91m: 幅3~4mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	CL'																																					
				淡黄	Vg	cg	4		82.08~82.46m: 高~低角度の割れ目が交差し、岩片状を呈する。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		83.30m: 幅2~3mmの黄灰色粘土を挟在する。	CL'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		●85.90~87.85m: 破砕帯。	D'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		85.90~86.20m: 礫質砂状破砕部(Hb)。砂を基質として角礫を含み、淡緑灰色粘土を不規則に挟む。上端の傾斜60°。	CL'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		86.20~87.75m: 角礫状破砕部(Hi)。割れ目に沿って淡緑灰色粘土を挟在する。上端に最大幅5mmの淡黄灰~灰白色粘土を挟む。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		87.75~87.85m: 粘土状破砕部(Hc-1)。上端側から幅0~10mmの灰白色粘土、幅8mmの灰黄色粘土、幅25mmの灰白色粘土、幅0~6mmの隣混じり灰白色粘土からなる。下端の傾斜65°。	D'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		87.85~89.44m: 傾斜60~70°の平行な割れ目が発達する。	CL'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		90.57~90.70m: 高角度の割れ目が密集する。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		92.00~92.20m: 岩片状に崩れる。	CL'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		92.15~93.97m: 高角度の割れ目が卓越する。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		93.12~93.22m: 最大幅5mmの淡緑灰色粘土をやや不規則に挟在する。	D'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		●93.36~93.45m: 破砕帯。	CL'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		93.36~93.42m: 角礫状破砕部(Hi)。割れ目に沿って灰白~淡緑色の粘土~シルトを挟在する。上端の傾斜は60°。下端の傾斜70°。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		93.42~93.45m: 隣混じり粘土状破砕部(Hc-2)。最大幅22mmの黄灰~明緑灰色の隣混じり粘土。下端の傾斜70°。	D'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		93.45~94.09m: 高角度の割れ目が卓越する。	CL'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		93.45~93.62m: 角礫状~岩片状を呈し、一部崩れる。	CM'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		96.03m, 96.06m: それぞれ幅5mm, 3mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	D'																																					
				淡黄橙	Vg	cg	4		96.71~97.46m: 高~低角度の割れ目が交差し、岩片状を呈する。	CL'																																					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入 ) 試験 ( N値~深度 ) 図		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)			
															N	値														
100	-11.74	106.11		淡赤橙	Cg	cg					101.11~104.34m: 低角度の割れ目が主体となる。	CL'		5/13	111										1.0	清水	3			
				黄橙	Cg	cg						102.53~102.63m: 礫状を呈し、一部に幅1mmの灰白色粘土を挟在する。102.80~103.92m: 低角度の割れ目が卓越し、一部岩片状を呈す。	CM'		5/18	110											1.0	清水	5	
				淡赤橙	Dg	cg						104.57m: 幅4mmの石英脈を挟む。	CL'																	
				黄橙	Dg	cg																								
				淡赤橙	Bg	cg																								
				黄橙	Bg	cg																								
				淡赤橙	Bg	cg																								
				黄橙	Bg	cg																								
				淡赤橙	Bg	cg																								
				黄橙	Bg	cg																								
				淡赤橙	Bg	cg																								
				黄橙	Bg	cg																								
110					にぶい橙	Bg	cg					106.11~130.00m: 花崗斑岩。106.30~107.66m: 高角度の割れ目が主体となる。107.17~107.86mは割れ目が密集し、岩片状~礫状に崩れる。	CL'																	
					明赤灰	Dg	cg						107.66~108.34m: 幅4mm程度までの白色粘土を挟在する割れ目が発達する。	CL'																
			灰白		Dg	cg						108.34~108.80m: 高~低角度が交差し、岩片状を呈する。下端には幅2mmの緑灰色粘土を挟在する。	CL'																	
			にぶい橙		Bg	cg						109.02~110.90m: 高角度の割れ目が優勢となる。	CL'																	
			浅黄橙		Bg	cg																								
			灰白		Bg	cg						111.53~113.18m: 珪化し、硬質になる。	CM'																	
			黄橙		Bg	cg						113.18~114.80m: 高~低角度の割れ目がともに発達する。	CH'																	
			淡赤橙		Bg	cg																								
			黄橙		Bg	cg						115.48~115.91m: 傾斜60~70°の割れ目が平行に発達する。	CL'																	
			淡赤橙		Bg	cg						116.36~116.44m: 傾斜60~70°の割れ目が密集する。	CL'																	
			黄橙		Bg	cg						116.65~117.54m: 微細な割れ目が不規則に発達する。	CL'																	
			淡赤橙		Bg	cg						117.70~118.00m: 傾斜80°程度の割れ目が集中する。	CL'																	
			黄橙		Bg	cg						118.00~118.65m: 不規則な割れ目が交差し、岩片状を呈する。	CL'																	
			淡赤橙		Bg	cg						118.98~119.91m: 高角度の割れ目が卓越する。	CM'																	
			黄橙	Bg	cg																									
120				淡赤橙	Bg	cg					120.86~120.97m: 岩片状を呈する。	CL'																		
				黄橙	Bg	cg						121.27~121.51m: 斑状あるいは脈状の石英を挟在する。	CL'																	
				淡赤橙	Bg	cg						121.83~123.98m: 低角度の割れ目が顕著になる。	CM'																	
				黄橙	Bg	cg																								
				淡赤橙	Bg	cg						123.98~125.32m: 高角度の割れ目が優勢となる。	CL'																	
				黄橙	Bg	cg						124.80~125.06m: 割れ目が集中し、礫状を呈する。	CL'																	
				淡赤橙	Bg	cg						125.06~125.50m: 岩片状を呈する。	CL'																	
				黄橙	Bg	cg						125.50~125.68m: 角礫状を呈する。下端に幅2mmの暗褐色粘土を挟在する。傾斜は74°。	CM'																	
				淡赤橙	Bg	cg						125.68~128.08m: 高角度の割れ目が卓越する。	CL'																	
				黄橙	Bg	cg																								
				淡赤橙	Bg	cg																								
				黄橙	Bg	cg																								
				淡赤橙	Bg	cg						129.00~129.60m: 高・低角度の割れ目がともに発達する。	CM'																	
				黄橙	Bg	cg						129.60~130.00m: 高角度の割れ目が優勢となる。	CL'																	

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.											2
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

事業・工事名

ボーリング名	Br-2			調査位置			北緯					
発注機関							調査期間			東経		
調査業者名							主任技師			現代場人		
孔口標高	58.29 m	角	180°	方	北 0°	地盤勾配	水平	使用機種	ハンマー落下用具			
総掘削長	80.00 m	度	下 0°	向	270° 西 180°	鉛直	0.0°	試験機	ポンプ			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目状態	風化	変質	記	岩級区分	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 → cm R Q D └ [ % ]	標準貫入 ( N値~深度 ) 試験		掘進速度 ( cm/時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	給圧 ( kN · MPa )	回転数 ( rpm )	送水圧 ( MPa )	排水量 ( L/分 )	
														原位置試験 ( 孔内水深載荷 )	室内試験							
	58.07	0.22	有難質シルト 下層に砂	黄橙	IV	δ	IV	δ			0.00~0.22m: 有機質砂。黒色の腐植土や炭化した木片を含む。	D'	3			4/21	100	28.4	60	0.0	無水0	
	57.37	0.92		黄橙	IV	ε	IV	ε	2		0.22~0.92m: シルト混じり砂。			4				370	18.6	90	0.1	清水10
			灰白	IV	δ	IV	δ	3			2.39~2.44m: 傾斜55~60°の割れ目が密集し、にぶい橙色粘土を挟在する。	CL'	5									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	2			2.44~2.58m: 幅2~4mmのにぶい橙色粘土を挟在する。	CM'	6									
			黄橙	IV	β	IV	β	3			3.32~3.55m: 高・低角度の割れ目が交差し、低角度の割れ目に沿ってにぶい橙色粘土を挟在する。	CH'	7									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3			4.85~4.94m: 幅3~7mmのにぶい橙色粘土を挟む割れ目が発達する。	CM'	8									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	9									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	10									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	11									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	12									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	13									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	14									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	15									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	16									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	17									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	18									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	19									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	20									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	21									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	22									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	23									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	24									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	25									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	26									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	27									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	28									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	29									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	30									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	31									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	32									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	33									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	34									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	35									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	36									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	37									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	38									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	39									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	40									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	41									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	42									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	43									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	44									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	45									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	46									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	47									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	48									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CH'	49									
			黄橙	IV	γ	IV	γ	3				CM'	50									

Table with multiple columns: 標尺 (Scale), 標高 (Elevation), 深度 (Depth), 柱状 (Columnar), 岩種 (Rock type), 色調 (Color), 硬軟 (Hardness), コア形状 (Core shape), 割れ目の状態 (Fracture state), 風化質 (Weathering), 変質 (Alteration), 記事 (Notes), コア採取率 (Core recovery), 岩級区分 (Rock classification), 孔内水位 (Borehole water level), 標準貫入 (Standard penetration), 試験 (Tests), 掘進速度 (Drilling rate), 孔径 (Borehole diameter), コアチップ/ビット (Core chips/bit), 回転数 (Rotational speed), 送水圧 (Water pressure), 送水量 (Water volume), 排水量 (Drainage volume).

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	記 事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	標準貫入 ( ) 試験 ( N 値 ~ 深度 ) 図		原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 回 圧 転 ( kN · MPa ) 数 ( rpm )	送 送 水 水 圧 圧 ( MPa ) ( MPa )	排 排 水 水 量 量 ( L / 分 ) ( L / 分 )		
													( N 値 )	( 深度 )											
70	-21.71	80.00	花崗斑岩	灰白	IVg	cg	cg	2	2	63.35~63.96m: 高角度の割れ目が優勢で、幅0.5~1mmの灰白色粘土を挟在するものが多い。	CL'														
				黄橙	IIg	bg	bg	2	2	64.98m: 幅1mmの褐色粘土を挟在する。	CH'					5/8	80					150			
				灰白	IIg	cg	cg	1	1	67.51m: 幅4mmで砂、細礫及び褐色粘土を挟在する。	CM'											150			
				明黄橙	Ig	bg	bg					B'				5/9	67					180			
				灰白	IIg	bg	bg					CH'										0.1			
				明黄橙	IIg	cg	cg					CM'													
				灰白	IVg	bg	bg	1	1			CH'													
				明黄橙	IIg	cg	cg					CM'													
				灰白	IVg	cg	cg					CL'											150		
				明黄橙	IIIg	bg	bg					CM'					5/11	142							
				灰白	IVg	cg	cg					CL'													
				明黄橙	IIg	bg	bg					CH'													



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	標準貫入 ( N 値 ~ 深度 ) 試験		孔内水位 ( m ) / 測定月日	原位置試験 ( 孔内水平載重 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 ( cm / 時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給送圧 ( kN · MPa )	回転数 ( rpm )	送水圧 ( MPa )	送水量 ( L / 分 )	排水量 ( L / 分 )				
													N	値																
30			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	26.64~26.66m: 幅10~25mmの淡褐色の礫混じり粘土を挟む。礫は最大径10mm。	B'	CH'	0	0				4/28	89					0.1	清水3	0				
40			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	29.18~29.64m: 幅1~2mmで褐色粘土を複数挟む。	CM'	CH'	0	0				4/29	93											
50			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	31.48~31.54m: 傾斜70°の割れ目が発達する。	CH'	CH'	0	0				4/30	132											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	38.90m: 幅5mmの黄褐色粘土を挟む。	CM'	CH'	0	0				5/1	123											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	40.19~40.53m: 径3~5cmの角礫状~岩片状を呈する。	CL'	CH'	0	0				5/7	123											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	40.53~41.10m: 破碎帯。 40.53~40.75m: 角礫状破砕部(Hi)。やや軟らかい角礫状を呈す。上端の傾斜70°。 40.75~40.96m: 礫混じり粘土状破砕部(Hb)。砂~粘土を基質とする。礫径は最大で30mm。 40.96~41.10m: 礫混じり粘土状破砕部(Hc-2)。それぞれ幅が10~15mm・10mm・40~50mmの黄灰色、灰白色・明褐色の礫混じり粘土からなる。主剪断面は40.96mで傾斜60°。下端の傾斜は不明瞭。	CH'	CH'	0	0						5/8	133									
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	41.10~41.22m: 角礫状を呈する。 42.40~42.49m: 網目状に割れ目が発達する。	CH'	CH'	0	0				5/7	123											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	43.33~43.68m: 高角度の割れ目が直越する。 44.92m: 幅2~3mmの砂混じり灰色粘土を挟む。 45.93~46.37m: 傾斜30~50°の割れ目が発達する。 46.54m: 傾斜45°の割れ目に沿って幅10mmの細礫混じり砂を挟む。	CH'	CH'	0	0				5/7	123											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	50.51~50.95m: 礫状~岩片状を呈する。	CL'	CH'	0	0				5/7	123											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	52.33~52.69m: 傾斜30~40°の割れ目が発達し、角礫状~岩片状を呈する。 53.17~53.54m: 傾斜50~70°の割れ目が発達し、岩片状を呈する。	CL'	CH'	0	0				5/7	123											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	57.07~57.12m: 礫状を呈する。	CH'	CH'	0	0				5/7	123											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	59.18~60.04m: 傾斜30~80°の割れ目が発達する。 60.04~60.47m: 割れ目が集中し、径20~50mmの角礫状を呈する。	CH'	CH'	0	0				5/7	123											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	61.51~61.55m: 割れ目が集中し、礫状を呈する。	CH'	CH'	0	0				5/8	133											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	62.81m: 幅10mmの淡緑灰色粘土を挟む。	CH'	CH'	0	0				5/8	133											
60			[ 図 ]	明赤灰	Bg	II g	II g	β	β	62.82~62.85m: 淡黄灰~淡緑灰色の細礫混じりシルト~粘土を挟む。	CH'	CH'	0	0				5/8	133											





ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.												4
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

事業・工事名

ボーリング名	Br-4		調査位置		北緯
発注機関					東経
調査業者名	主任技師		現代場人	コ鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	23.31 m	角	180° 上 0° 下 90°	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総掘削長	70.00 m	度	0.0°	向	地盤勾配
試験機	ハンマー落下用具			ポンプ	
エンジン					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 (%)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験 (N値~深度) 図				原位置試験 (孔内水深記載)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)									
															N	10	20	30																				
	22.94	0.37									0.00~0.37m: 有機質砂。幅~中粒砂を主体とする。0.37~0.92m: シルト混じり砂礫。礫は花崗斑岩の角~亜角礫で、径3~30mm。0.92~11.30m: 花崗斑岩。		CL'		4/16	115			0.0	0		0																
	22.39	0.92									2.20~2.22m: 幅8~12mmの粘土を挟在する。傾斜60°。3.00~3.35m: 高角度の割れ目に黒色酸化物を挟在する。3.93~4.05m: 傾斜40~50°の割れ目が卓越する。4.71~5.63m: 割れ目に沿って幅5~60mmで細礫~砂状を呈する。5.65~5.86m: 高角度の割れ目に沿って黒色酸化物を挟む。		CM'		4/16	150																						
											8.50m: 幅5~10mmで砂状~細礫状を呈する。9.21~11.76m: 明瞭な黒色酸化物を挟在する。一部褐色化する。		CL'		4/18	81												0.0		清水1	1							
10											11.15~11.27m: 傾斜60°程度の割れ目が発達。11.30~12.75m: アブライト。境界の傾斜は上端70°、下端約10°。11.77~12.07m: 灰白~青灰色の軟らかい粘土を挟在する。		CL'		4/20	79																						
	12.01	11.30									12.75~70.00m: 花崗斑岩。 ●12.91~13.24m: 破砕帯。 12.91~13.08m: 角礫状破砕部(Hj)。割れ目に沿って粘土~シルトを挟在する。上端は傾斜10~30°で湾曲する。 13.08~13.24m: 角礫混じり粘土状破砕部(Hb)。基質は粘土~シルトからなる。下端は傾斜75°で直線的。		CM'		4/21	101																						
	10.56	12.75									14.17~14.47m: 上・下端に白色及び褐色の粘土混じり砂を挟在する。幅は上端が5~15mm。下端が15~25mm。 15.14m: 幅2~3mmの褐色粘土を挟在する。 15.27~16.30m: 幅0.5~3mmの灰白色粘土を挟在する割れ目が発達する。 16.57~16.71m: 礫状~岩片状を呈し、崩れる。 17.00m: 割れ目に沿って幅7mmで砂状を呈する。 19.77~19.79m: 幅3~15mmで淡褐~褐色の細礫~砂状を呈する。		CL'		4/22	72																						
20											21.74~21.76m, 21.90~21.92m: 砂状~細礫状を呈する。 22.07~22.42m: 高角度の割れ目が発達する。一部に幅1~4mm程度の灰白色粘土を挟在する。 22.36m: フィルム状~幅5mmの褐色粘土を挟在する。		CH'		4/23	81																						
											26.73m, 26.75m: 幅1~2mmの軟らかい白色粘土を挟在する。		CM'																									

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コリア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入		試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 掘進月日	掘進 掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ ノビット	給圧 (KN・MPa)	回転 数 (rpm)	送水 圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水 量 (L/分)							
															( N 値 )	( 深度 )	( N 値 )	( 深度 )																		
30				花崗斑岩	にぶい黄土	Bg	IV g	γ		2		28.39~28.42m: 割れ目が密集し、角礫状を呈する。 28.50~28.53m: 割れ目が密集し、幅2~10mmで砂状を呈する。	CM'			0	10	20	30	40	50	4/23	81													
							III g																													
							IV g																													
							II g																													
							Bg																													
							III g																													
					灰オリーブ	Bg	III g	β		30.51~30.58m: 砂~礫状を呈する。	CM'		10	20	30	40	50	4/24	100																	
							IV g																													
							III g																													
							II g																													
							Bg																													
							III g																													
にぶい黄土	Bg	II g	β	34.58~34.63m: 幅0~3mmの褐色粘土を挟在する。 35.07~35.74m: 割れ目が網目状に発達する。	CM'		10	20	30	40	50	4/25	91																							
		III g																																		
		IV g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		
灰オリーブ	Bg	II g	α	36.07~39.30m: 低角度の割れ目が主体となる。	B'		10	20	30	40	50	4/27	122																							
		III g																																		
		IV g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		
にぶい黄土	Bg	II g	γ	39.47~39.57m: 傾斜30~65°の割れ目が密に発達する。 40.21~40.23m: 傾斜45°の割れ目が集中する。	CM'		10	20	30	40	50	4/28	143																							
		III g																																		
		IV g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		
灰	Bg	III g	α	42.87~43.19m: 高角度の割れ目が集中する。	CH'		10	20	30	40	50	4/29	123																							
		IV g																																		
		III g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		
襖灰	Bg	IV g	β	46.22m: 幅2~10mmで細礫状~砂状を呈する。 46.38~46.60m: 岩片状を呈する。	CM'		10	20	30	40	50	4/30	119																							
		III g																																		
		IV g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		
灰	Bg	III g	α	49.00~51.00m: 鉛直に近い割れ目が続く。一部に幅1~3mmの砂混じり茶褐色粘土を挟在する。	CM'		10	20	30	40	50	4/28	143																							
		IV g																																		
		III g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		
灰	Bg	IV g	β	50.95~51.10m: 傾斜50°の割れ目が集中し、一部礫状を呈する。	CH'		10	20	30	40	50	4/29	123																							
		III g																																		
		IV g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		
灰	Bg	IV g	α	52.30m: 傾斜60°の割れ目に沿って幅3mmで砂状~細礫状呈する。	B'		10	20	30	40	50	4/28	143																							
		III g																																		
		IV g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		
襖灰	Bg	IV g	β	54.74~56.27m: 傾斜20°と80°の割れ目が交差する。	CM'		10	20	30	40	50	4/29	123																							
		III g																																		
		IV g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		
灰	Bg	IV g	α	56.30~57.27m: 高角度の割れ目が主体となる。	B'		10	20	30	40	50	4/29	123																							
		III g																																		
		IV g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		
にぶい黄土	Bg	III g	β	62.00~62.41m: 傾斜65°の平行な割れ目が発達する。 62.21m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟在する。	CH'		10	20	30	40	50	4/30	119																							
		IV g																																		
		III g																																		
		II g																																		
		Bg																																		
		III g																																		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ⌊ [%]	岩級区分	孔内水位(測) / 測定月日	標準貫入試験 ( N値 ~ 深度 ) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
															0	10	20	30	40												50	
	46.69	70.00		花崗斑岩	灰褐色	Bg IVg	IIIg	γ	2	β	63.12~64.40m: 傾斜60°程度の平行な割れ目が発達する。  66.58~68.88m: 傾斜60°の割れ目が発達する。  68.44~68.54m: 傾斜60°の割れ目が密に発達し、一部細礫状を呈する。													4/30	143		ダブルコアチーン / ダイヤモンドビット	44.0	150	0.0	清水	0

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo. 5

事業・工事名

Header information table including Boring Name (Br-5), Location, Issuing Agency, Investigation Period, Investigator, Modern Site, Recorder, Boring Depth (70.00m), and Orientation diagrams.

Main borehole log table with columns for depth (0-70m), lithology, soil strength, groundwater level, and test results. Includes detailed descriptions of soil layers and groundwater data.

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位(測) / 測定月日	標準貫入 (試験) 図		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給送水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)																														
															N 値	N 値~深度																																								
30			花崗斑岩	淡赤橙	Bg	IV g	bg	β	1	2	27.27~27.60m: 幅10mm程度で砂状~細礫状を呈する。 27.43~27.52m: 砂状~礫状を呈する。	0	CH'		0	4/14	78								0.3	清水 <sub>2</sub>	0																													
																												淡赤橙	Bg	IV g	bg	β	1	29.02~29.64m: 開口した割れ目が発達し、黒色酸化物を挟在する。一部径0.5~10mmの角礫状を呈する。 30.57~30.67m: 割れ目が集中し、一部礫状~岩片状を呈する。	100	CH'		4/16	75									0.3	清水 <sub>1</sub>	0						
																																																			黄橙	Bg	IV g	bg	β	1
淡赤橙	Bg	IV g	bg	β	1	35.55m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟在する。傾斜75°程度。 36.79~37.25m: 割れ目が良く発達する。 37.80~38.97m: 傾斜50°の平行な割れ目が1~10cm間隔で発達する。 39.52~39.84m: 傾斜60~90°の割れ目が発達する。 39.69m: 幅8~20mmの石英脈を挟在する。	100	CL'		4/16	101											0.3	清水 <sub>2</sub>	0																																
																									にんげい橙	Bg	IV g	bg	β	1	41.32~41.44m: 不規則な割れ目が発達する。 42.05~42.40m: 高・低角度の割れ目が交差する。 42.48m: 幅0~5mmで細礫状を呈す。 42.77~42.82m: 岩片状を呈する。	100	CM'		4/17	47														0.3						
																																																			淡赤橙	Bg	IV g	bg	β	1
にんげい橙	Bg	IV g	bg	β	1	47.25~48.00m: 割れ目に沿ってフィルム状の灰白~淡緑灰色粘土を挟在する。 48.00~48.31m: 傾斜40~50°の割れ目に沿って幅1~3mmの淡緑灰色粘土を挟在する。 49.32~50.23m: 幅1~4mmの淡緑灰色粘土を挟在する。 ●50.48~51.16m: 破碎帯。 50.48~50.50m: 疎鬆じり粘土状破碎部(Hc-2)。上部の傾斜78°。幅5~15mmの疎鬆じり灰白色粘土。 50.50~51.14m: 角礫状破碎部(Hj)。幅1mm以下の黄灰~灰白色粘土を挟在する。 51.14~51.16m: 粘土状破碎部(Hc-1)。幅10~20mmの緑灰色粘土。下部の傾斜75°。 53.76~54.35m: 粗目状に割れ目が発達し、岩片状を呈す。	100	CL'		4/20	37																																													
																									オリブ灰	Bg	IV g	bg	β	1	55.84~56.04m: アブライト。やや変質している。割れ目に沿って1~3cmの角礫状を呈す。 56.04~70.00m: 花崗斑岩。 56.31~58.09m: 不規則な割れ目が発達する。	100	CM'		4/21	101																				
																																																			灰緑	Bg	IV g	bg	β	1
にんげい橙	Bg	IV g	bg	β	1	61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	100	CL'																																																

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日	標準貫入 ( ) 試験 ( N 値 ~ 深度 ) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)
															0	10	20	30	40											
	62.91	70.00		花崗斑岩	にがい種	Bg	IIIg	γ			66.25~67.40m: 傾斜60~80°の割れ目を主体とする。 68.05~69.07m: 高角度の割れ目が発達する。		CM'									4/22	75		ダブルコアチップ / ダイヤモンドビット	28.2	180	0.3	清水2	0
					浅黄褐色	Cg	IVg	δ					CL'									4/23	88			9.8	0.3	清水2	0	

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

6

事業・工事名


ボーリング名	Br-6		調査位置			北緯		
発注機関					調査期間	東経		
調査業者名				主任技師			現場人	ボーリング者
孔口標高	2.61 m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総掘削長	100.00 m	度	下 0°	向	0, 0°	試験機	ハンマー落下用具	
						エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアラ形状	割れ目の状態	風化	変質	記	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値~深度) 図				原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)					
																	0	10	20	30															
	-2.06	4.67		埋土	灰黄						0.00~4.67m: 埋戻土。 0.00~0.39m: 碎石。 0.39~4.67m: 中~粗粒砂及び細礫を主体とする埋戻土。												4/11	17	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0.0	0	0					
	-5.22	7.83		シルト混じり砂	暗緑灰						4.67~7.83m: シルト混じり砂。炭質物、貝殻片が混じる。細粒砂を主体とする。 6.83~7.75m: 石英の細礫を多く含む。												4/13	25	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0.0	清水1	1					
10	-9.44	12.05		シルト質砂	淡黄 明黄						7.83~12.05m: シルト質砂。極い砂からなる。シルトを含む細粒~中粒砂を主体とする。一部に細礫を含む。 8.80~9.75m, 9.92~10.03m: 炭質物を含む。 11.60m: 炭質物が密集する。													4/14	115	120ヶーション	0.0	0	0.0	清水5	5				
	-17.76	20.37		玉石混じりシルト質砂	灰 明黄 淡黄 黄						12.05~20.37m: 玉石混じりシルト質砂。 花崗斑岩の風化礫や硬質礫を不均質に含む。歪角~歪門礫で、最大径35cm。径2~9cm程度のものが多い。大礫は硬質で、細~中礫は軟質。基質は細~中粒砂を主体とし、良く締まっている。 12.27m: 径4cm程度の赤褐色の木片を挟む。 13.68~13.90m: 風化花崗斑岩礫。 15.48~15.58m: 細礫が密集する。 15.85~16.00m: 硬質な花崗斑岩の玉石。 16.00~16.51m: 風化した中礫及び玉石を含む。 17.12~17.52m, 18.53~18.87mには玉石を、17.60~17.80m, 18.23~18.37mには風化礫を含む。																	4/15	220	ダブルコアチューブ/メタルクラウン	0.0	0	0.0	清水6	6
	-17.76	20.37		花崗斑岩	淡黄 黄 明黄						20.37~100.00m: 花崗斑岩。 20.37~22.34m: 砂状を呈し、原岩組織は不明瞭となる。 20.62~20.88m: 幅0.5~2mmの褐色の砂を挟む。 23.53~24.32m: 割れ目が交差して格子状を呈する。 23.67m: 幅2mmの緑褐色粘土を挟む。 26.29~27.10m: 微細な割れ目が卓越する。															4/16	94	105ヶーション	0.0	0	0.0	清水1	1		
																							4/17	45	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0.0	清水1	1					
																							4/18	43		0.0	0	0.0	清水2	2					
																							4/20	39		0.0	0	0.0	清水2	2					
																							4/21	136	ダブルコアチューブ/メタルクラウン	0.0	0	0.1	清水5	5					
																							4/23	135	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0.1	清水3	3					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日 ( N ) 値	標準貫入 ( 試験 ) ( N 値 ~ 深度 ) 図		原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 ( cm / 時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 ( kN · MPa )	回転数 ( rpm )	送水量 ( MPa )	排水量 ( L / 分 )													
														0	50																							
		30	花崗斑岩	淡黄	淡黄	IV g	cg	γ	δ	27.36~27.56m: 微細な割れ目が集中する。	8	CL'																										
										29.71~30.80m: 低角度の割れ目が優勢となる。 30.37~30.80m: 幅1~3mmの淡褐色~褐色のシルト~砂を挟在する。 30.80~31.91m: 高角度の割れ目が卓越する。	12	CM'																										
													IV g	cg	δ	3	32.60~33.02m: 高角度の割れ目が良く発達し、一部に暗緑灰色のシルト~砂を挟在する。 ●33.02~34.01m: 破砕帯。 33.02~33.97m: 角礫状破砕部(Hj)。上端に幅1~4mmの褐色粘土を挟在する。傾斜85°。	11	CL'																			
										33.97~34.01m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅25mmの緑灰色粘土からなる。下端の傾斜50~70°。	10	D'																										
													IV g	cg	γ	1	34.80m: 幅0.5~3mmの暗緑灰色のシルト~砂を挟在する。 35.00m: 幅1~2mmの灰褐~淡褐色シルトを挟在する。 36.37m: 幅3mmの暗灰色粘土を挟在する。	9	CL'																			
										37.45~37.83m: 幅0.5~3mmの暗灰色粘土を挟在する。 38.38m: 幅2~5mmの淡褐色のシルト~粘土を挟在する。	8	CM'																										
		40											IV g	cg	γ	2	40.83m, 41.33m: 幅3mmの白色粘土を挟在する。 41.48~41.57m: 礫状を呈し、下端に幅3mmの白色粘土を挟在する。 42.02~42.42m: 幅0.5~5mmでにぶい褐色の砂~細礫を挟在する。	7	CH'																			
										43.08m: 幅2mmの白色粘土を挟在する。	6	CM'																										
													IV g	cg	δ	3	44.47m: 幅2mmの白色粘土を挟在する。 44.82m: 幅2mmの淡褐色シルトを挟在する。	5	CL'																			
										47.79~47.83m: 低角度の割れ目が集中する。下端に幅4mmのシルト~砂を挟在する。	4	B'																										
		50											IV g	cg	γ	1	51.39~51.52m: 高・低角度の割れ目が交差する。	3	CH'																			
										57.54~57.87m: 低角度の割れ目が卓越する。	2	B'																										
		60											IV g	cg	γ	2	60.03~61.72m: 低角度の割れ目が優勢となる。	1	CH'																			
																	IV g	cg	δ	3		0	CL'															



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩級区分	標準貫入試験 (N値~深度) 図		孔内水位 (m) / 測定月日	原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
															N	値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
70			花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg	bg	γ	β	2	66.07~67.13m: 高角度の割れ目が優勢となる。 66.78m: 幅1~6mmの黄褐色のシルト~砂を挟在する。 67.66m: 幅3mmの淡褐色粘土を挟在する。 67.92~68.41m: 高角度の割れ目が卓越する。 68.45m: 幅3mmの褐色粘土を挟在する。 69.00~69.04m: 軟質となる。	0 50 100 [4] 16 [30] 33 [100] 48 [77] 22 [34] 28 [53] 24 [61] 15 [81] 16 [113] 19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 28 [58] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [48] 5 [48]	CM' CH' CM' CH' CL' CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	4/30 114		4/30 114		100	0.1	清水5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
70																																							花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg	cg	β	2	72.00~72.15m: 砂状を呈する。	19 [38] 62 [83] 24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 28 [58] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [48] 5 [48]	CM' CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/1 107		5/1 107		0.1	清水4	3																																																																																																																																																																																																																																																																															
80																																																																								花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg	bg	γ	β	3	75.34~75.39m: 軟質化する。上・下端の割れ目に沿って幅4~5mmの砂を挟在する。 75.34~76.66m: 低角度の割れ目を主体とする。 76.66~76.86m: 高・低角度の割れ目が交差する。 77.09~77.63m: 低角度の割れ目が主体となる。	24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 28 [58] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [48] 5 [48]	CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/7 60		5/7 60		0.1	清水4	2																																																																																																																																																																																																																																													
80																																																																																																												花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg	cg	β	2	80.22~80.30m: 傾斜60~80°の割れ目がほぼ平行に発達する。 81.09~81.30m: 低角度の割れ目に沿って幅1~3mmの砂を挟在する。 81.48~81.60m: 軟質化し、一部細礫状を呈する。	24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 28 [58] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [48] 5 [48]	CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/8 51		5/8 51		0.1	清水3	1																																																																																																																																																																																																										
80																																																																																																																																														花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg	bg	γ	β	3	83.57m: 幅12mmで細礫混じりの褐灰色粘土を挟在する。	24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 28 [58] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [48] 5 [48]	CH' B' CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/9 22		5/9 22		0.1	清水4	2																																																																																																																																																																							
80																																																																																																																																																																														花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg	cg	β	2	86.10~86.42m: 高角度の割れ目が平行に発達する。	24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 28 [58] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [48] 5 [48]	CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/11 43		5/11 43		0.1	清水3	2																																																																																																																																								
80																																																																																																																																																																																																												花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg	bg	γ	β	3	88.62m, 88.70m: 幅2~8mmの砂~細礫を挟在する。	24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 28 [58] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [48] 5 [48]	CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/12 63		5/12 63		0.1	清水3	1																																																																																																									
80																																																																																																																																																																																																																																											花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg	cg	β	2	90.00~90.69m: 幅1~2mmの砂を挟む高角度の割れ目が卓越する。 90.69~91.18m: 網目状に割れ目が発達する。	24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 28 [58] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [48] 5 [48]	CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/13 151		5/13 151		0.1	清水3	1																																																																											
80																																																																																																																																																																																																																																																																										花崗斑岩	明赤灰	Cg	IVg	cg	β	2	92.53~94.20m: ほぼ平行な高角度の割れ目が卓越し、一部に幅2mm程度の砂を挟在する。	24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 28 [58] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [48] 5 [48]	CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'	5/14 83		5/14 83		0.1	清水2	1																																												
80																																																																																																																																																																																																																																																																																																								花崗斑岩	明赤灰	Cg	IVg	cg	β	2	98.50m: 幅5~16mmで角礫状を呈する。 98.57~98.67m: 割れ目に沿って珪化する。 98.67~98.71m: 幅2~7mmの角礫混じり淡緑灰~淡黄灰色粘土を挟在する。礫径は2~5mm。 98.78~99.50m: 高角度の割れ目が卓越する。	24 [86] 22 [92] 36 [88] 41 [77] 34 [87] 18 [74] 26 [57] 30 [89] 57 [72] 28 [47] 48 [106] 28 [58] 34 [76] 24 [71] 20 [70] 19 [38] 22 [64] 24 [44] 5 [13] 16 [28] 48 [59] 44 [87] 22 [41] 24 [48] 5 [48]	CH' CM' CH' B' CH' CM' CH' CM' CL' CH' CM' CH' CM' CL'					0.1	清水2	1														

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入 ) 試験 ( N値~深度 ) 図							原位直試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) /孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)
													0	10	20	30	40	50												
	97.39	100.00		花崗閃岩	黄橙	Cg Bg	Vg Hg	cg	γ 3	0 17 50 100 42	CL		0	10	20	30	40	50		5/14	83		ダブル コア システム ヘッド	66.6	120	0.2	0.1 清水 排水 2	0		

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.									8
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	---


事業・工事名

ボーリング名	Br-8			調査位置		北緯	
発注機関					調査期間	東経	
調査業者名					主任技師	現場人	ボーリング責任者
孔口標高	72.34 m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘削長	100.00 m	度	0.0°	向	0.0°	試験機	ハンマー落下用具
						エンジン	ポンプ

標準	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア	割れ目	風化	変質	記	岩級	標準貫入	試験	室内	掘進	掘進	孔径	給	回	送	排						
尺	高	度	状	区	調	軟	形状	目	化	質	事	区	(N値~深度)	図	試験	内	進	径	水	転	水	水						
(m)	(m)	(m)	図	分	分	状	状	状	状	状	事	分	(N値~深度)	(N値~深度)	試験	試	速	(mm)	圧	数	圧	量						
(m)	(m)	(m)														度	(cm/時)	保護	(kN・MPa)	(rpm)	(MPa)	(L/分)						
72.18	0.16	71.99	0.35	71.64	1.00	70.64	1.35	有機質土混じり砂、黒泥に富み、粗粒砂、砂礫に富み、砂礫			0.00~0.16m: 有機質土混じり砂。腐植物を含む中粒~粗粒砂を主体とする表土。 0.16~0.35m: 雑混じり砂。 0.35~1.00m: 砂礫。 シルト混じり中粒~粗粒砂を主体とする基質中に花崗斑岩の垂直線(径10~30mm)を含む。一部に腐植物片を挟在する。下端の0.63~1.00mは花崗斑岩の硬質な玉石。 1.00~1.35m: 雑混じり粘土。 細粒混じりの軟弱な粘土を主体とする。隙は径2~10mmの垂直隙からなる。																	
70.99	10	60.99		明黄褐色				2			1.35~46.90m: 花崗斑岩。傾斜45°の境界で第四系と接する。 1.89~1.90m: 傾斜45°で幅7~10mmの黄褐色粘土を挟在する。僅かに砂を含む。 1.90~1.96m: 細隙を含む黄褐色の砂質な粘土状を呈す。 4.43m: 傾斜45°の割れ目に沿って幅20mmで軟質化する。下端に幅5mmの細粒混じり粘土を挟在する。 6.65~7.00m: 傾斜20~30°の割れ目が主体で、一部に幅1mm程度の粘土を挟在する。 7.06m: 幅2~3mmの軟らかい白色粘土を挟在する。 8.20m: 幅2~3mmの褐色粘土を挟在する。																	
50.99	20	40.99		明黄褐色				3			9.90m: 幅2mmの褐色粘土を挟在する。 9.93~10.17m: 砂状を呈し、上端に幅5mmの灰白色粘土を挟在する。 10.13~10.72m: 幅1~2mmの軟らかい灰白色粘土を挟在する。 11.27~11.29m: 傾斜25°の割れ目が集中する。 11.57m: 幅1~3mmの軟らかい灰白色粘土を挟在する。																	
30.99		20.99		灰白				2			13.04m: 幅10mmで砂状~細礫状を呈する。 17.73~18.31m: 高角度の割れ目が発達する。 17.89m、17.92m: 幅1~2mmの灰白色粘土を挟在する。																	
10.99		10.99		に富み、橙				δ			21.24~21.46m: 傾斜70°程度の割れ目が交差し、岩片状を呈する。																	
0.99		0.99		淡黄褐色				δ			24.54m: 幅5~10mmの灰白色粘土を挟在する。 24.85m: 幅1~3mmの褐色粘土を挟在する。 24.86~25.99m: 高角度の割れ目が発達する。 24.91m: 幅10mmの灰白色粘土を挟在する。																	
0.00		0.00		淡褐色				δ			26.57m: 幅2mmの灰白色粘土を挟在する。																	

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	標準貫入 (N値~深度) 試験	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入 ) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進日	孔径 (mm) / 孔壁保護	給排水量 (L/分)	回送水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)
													( N )	値										
30	25.44	46.90	花崗斑岩	淡黄	Cg	IIg	γ	δ	3	27.67~28.24m: 傾斜40~60°の開口した割れ目が発達し、一部に砂質シルトを挟在する。	0		0	21	[40]	CM'	5/19	202		0.0	清水3	0		
				淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
淡黄	Cg	IVg									10	[49]	CL'											
灰白	Bg	IIg									10	[49]	CL'											
灰白	Cg	IVg									10	[49]	CL'											
灰白	Bg	IVg									10	[49]	CL'											
淡黄	Cg	IVg									10	[49]	CL'											
淡黄	Bg	IIg									10	[49]	CL'											
淡黄	Dg	IVg									10	[49]	CL'											
淡黄	Eg	IVg									10	[49]	CL'											
淡黄	Eg	IVg									10	[49]	CL'											
淡黄	Dg	IVg									10	[49]	CL'											
淡黄	Eg	IVg									10	[49]	CL'											
40	23.80	48.54		花崗斑岩	灰白	Eg	IVg	δ	γ	3	34.78~36.34m: コア欠。	0		0	20	[39]	CM'	5/20	150	86 / セメントセメント				
			淡黄		Bg	IVg								10	[49]	CL'								
			淡黄		Cg	IVg								10	[49]	CL'								
			淡黄		Bg	IVg								10	[49]	CL'								
			灰白		Cg	IIg								10	[49]	CL'								
			灰白		Bg	IVg								10	[49]	CL'								
			淡黄		Cg	IVg								10	[49]	CL'								
			淡黄		Bg	IVg								10	[49]	CL'								
			淡黄		Dg	IVg								10	[49]	CL'								
			淡黄		Eg	IVg								10	[49]	CL'								
			淡黄		Dg	IVg								10	[49]	CL'								
			淡黄		Eg	IVg								10	[49]	CL'								
			淡黄		Bg	IVg								10	[49]	CL'								
			淡黄		Cg	IVg								10	[49]	CL'								
50	16.81	55.53	花崗斑岩	明黄褐	IIg		δ	3	46.90~48.54m: 捕獲岩。	0		0	20	[36]	CM'	5/26	93		ダブルコネクティオンダイヤモンドボウサ					
				淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Cg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
				灰白	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
				灰白	Cg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Cg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Dg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Eg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Dg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Eg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Cg	IVg								10	[49]	CL'								
60	15.83	56.51	花崗斑岩	明黄	IIg		γ	2	55.62~56.51m: 捕獲岩。	0		0	20	[30]	CL'	5/27	131							
				淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Cg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Cg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Cg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Dg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Eg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Dg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Eg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'								
				淡黄	Cg	IVg								10	[49]	CL'								
淡黄	Bg	IVg								10	[49]	CL'												

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調軟状化	硬軟	コアラ形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ( % )		岩級区分	標準貫入 ( N値~深度 ) 図		孔内水位 ( m ) / 測定月日	室内試験	掘進速度 ( cm / 時 )	孔内水平試験 ( 孔内水平載荷 )	コアチューブ / ビット	給送水量 ( L / 分 )	回転数 ( rpm )	送水圧 ( MPa )	排水量 ( L / 分 )				
												→ ( % )	← ( % )		( N値~深度 )	( N値~深度 )													
70	2.55	69.79	ベグマタイト	花崗斑岩	浅黄橙	IVg	Dg	cg	δ	3	64.36~84.96m: 最大幅2mmの灰白色粘土を複数挟在する。	0	50	CL'															
		2.25	70.09	ベグマタイト	花崗斑岩	浅黄	IVg	Bg	γ	2	●65.81~67.33m: 破砕帯。角礫状破砕部(HJ)。上部に幅5~10mmの石英脈及び幅5~15mmの赤色粘土を挟在する。傾斜は60°。淡黄~灰白~黄灰色の粘土~シルトの基質中に、最大径50mm程度の岩片を挟む。下端の傾斜は70°。	50	100	CM'								5/28	131						
				ベグマタイト	花崗斑岩	淡黄	IVg	Bg	γ	3	67.33~67.56m: 傾斜70~80°の割れ目が密集する。			CL'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	灰白	IVg	Bg	γ	4	69.79~70.09m: ベグマタイト。69.79~69.84mには流理構造が見られる。			D'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰明橙灰	IVg	Bg	γ	3	70.09~70.75m: ベグマタイトとの交代作用が見られる。70.64mまでは高角度の開口した割れ目が卓越し。岩片状を呈する。			CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	γ	2	71.35~77.19m: 比較的強い酸化を受けているが、コアは柱状を呈す。			B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰明橙灰	IVg	Bg	δ	3				CM'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	γ	3				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	γ	3				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	δ	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	δ	3				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	δ	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	δ	3				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	δ	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	γ	3				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				B'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β	2				CH'															
				ベグマタイト	花崗斑岩	明赤灰	IVg	Bg	β																				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 ) 図					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)
														0	10	20	30	40											
	-27.66	100.00		花崗斑岩 にふい黄土	Cg	Hg	cg	γ	3		CM								6/8 90	6/8 90	185	28.4	150	0.0	清水3	0			

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo. 9

事業・工事名

Header information table including boring name (Br-9), location, survey period, and equipment details.

Main data table with columns for depth (0-20m), lithology, soil classification, and test results. Includes detailed descriptions of soil layers and their properties.

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コ ア長 cm R Q D 取 れ 目 の 状 態 [ % ]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 ( $\bar{m}$ ) 測 定 日 月	( 標準貫入 ) 試験		原 位 置 置 試 験 (孔内水平載重)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 ( $\bar{cm}$ /時)	孔 径 (mm) / 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ブ / ビ ット	給 回 送 水 量 ( $\bar{rpm}$ ) ( $\bar{MPa}$ )	送 水 圧 ( $\bar{MPa}$ )	送 水 量 ( $\bar{L}$ /分)	排 水 量 ( $\bar{L}$ /分)																																					
														N	値																																															
																										( $\bar{N}$ 値~深度)	図																																			
		30				Bg			2	28.48m: 走向が異なる高角度の割れ目が複数発達し、割れ目に沿ってフィルム状~幅4mmの灰白色粘土を挟む。 28.69~29.45m: 高角度の割れ目が卓越する。一部に幅2mm程度までの灰白色粘土を挟在する。 31.37~31.91m: 高角度の割れ目が発達する。 32.35~33.04m: 高角度の割れ目が良く発達する。 33.47~33.60m: 高角度の割れ目が集中し、幅0.5mm程度の灰白色及び褐色粘土を挟在する。 34.56~34.88m: 変質により褐色を呈する。 35.30~35.57m: 傾斜80°程度の割れ目が集中して発達する。一部にフィルム状の灰白色粘土を挟在する。 37.72~40.73m: 変質により褐色を呈する。 39.44~39.87m: 幅3mm程度の灰白色粘土を挟在する割れ目が発達する。 43.12~45.12m: 割れ目に沿った変質による褐色化が顕著になり、黒色酸化物を挟在する。一部に幅0.5mm程度の灰白色粘土を挟在する。 47.41~47.45m: 細砂~砂状を呈する。 48.18~48.26m: 低角度の割れ目が集中し、岩片状を呈する。 50.49~54.64m: 変質・風化によって褐色化し、やや軟質化する。51.78~53.00mには、ほぼ鉛直な割れ目が発達し、幅1~10mmの石英脈を挟在する。 55.08~59.05m: 傾斜35~45°を主体とする割れ目が10~30cm間隔で発達する。一部に幅0.5~2mmの石英脈を挟在する。 61.50~80.00m: 変質によって淡褐色を呈する。																																																				
		40								2																																																				
		50								2																																																				
		60								2																																																				